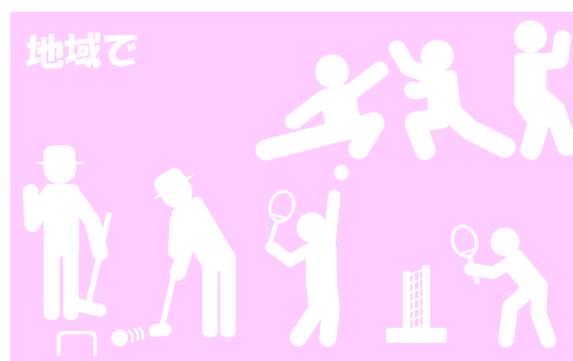
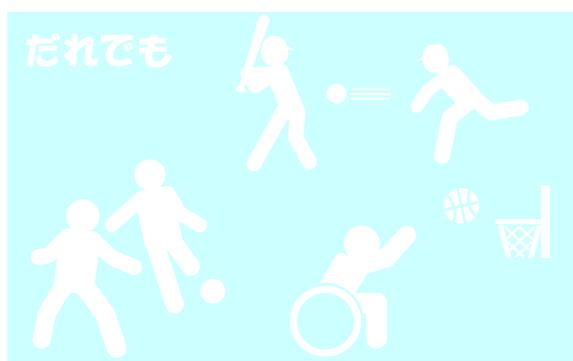


東広島市スポーツ推進計画

スポーツで地域を創るまち東広島



平成29年3月

東広島市教育委員会

はじめに

本市においては、これまで平成19年3月に策定しました「東広島市スポーツ振興計画」に基づき、「いつでも・どこでも・だれもが楽しめる生涯スポーツ社会の実現」に向けて取り組んでまいりました。

この間、国においては平成23年6月に制定された「スポーツ基本法」に基づき、平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定されたほか、広島県においても平成26年8月に「広島県スポーツ推進計画」が新たに策定されるなど本市を取り巻く社会情勢が大きく変化しております。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機としたスポーツ政策の盛り上がりや、スポーツツーリズムに代表されるような異分野連携に注目が集まるなど、スポーツ産業全体が活況を呈しているところでございます。一方で、人口減少や少子高齢化、多様化するライフスタイルなどスポーツを取り巻く環境も複雑化しており、こうした課題に応じた取組が求められております。

そこで、本市では、これらの社会情勢等の変化に対応するとともに、多様化するスポーツニーズに応えつつ、本市のより一層のスポーツ振興施策の充実を図ることを目的として、新たに「東広島市スポーツ推進計画」（平成29年度～平成38年度）を策定いたしました。

本計画は、「スポーツで地域を創るまち東広島」を基本理念に掲げ、全ての市民の皆さまが、各々の興味や関心等に応じて運動・スポーツ活動に参画することの出来る環境を整えることで、心身ともに生き甲斐を実感し、豊かな人生を送るための支援に努めるとともに、運動・スポーツを楽しむことにより生まれる地域のつながりを活かしたスポーツによるまちづくりの実現に向けて、各種施策を推進してまいりたいと考えております。

終わりになりますが、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました東広島市スポーツ推進審議会の皆さまをはじめ、アンケート調査やヒアリング調査等にご協力いただきました市民の皆さま並びに関係団体の皆さまに心より感謝を申し上げます。

平成29年3月

東広島市教育委員会 教育長 津森 毅

目次

第1章 計画の総論.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 法的根拠.....	1
3 計画の期間.....	1
4 関連計画等との整合.....	2
5 計画の策定体制・手法.....	3
(1) アンケート調査の実施.....	3
(2) スポーツ関係団体等へのヒアリング調査の実施.....	3
(3) 東広島市スポーツ推進審議会による審議.....	3
(4) パブリックコメントの実施.....	3
第2章 東広島市のスポーツを取り巻く現状.....	4
1 人口の現状.....	4
(1) 東広島市の人口の推移.....	4
(2) 年齢3区分別人口.....	4
(3) 将来人口（人口ビジョンの目標推計結果）.....	5
(4) 各地域の人口の推移.....	6
2 スポーツを取り巻く環境.....	8
(1) 市内の主なスポーツ関係団体.....	8
(2) 東広島市スポーツ施設等の配置状況.....	9
(3) 主なスポーツ行事等の開催状況.....	10
3 市民アンケート調査結果から見る現状・課題.....	11
(1) 市民アンケート調査の実施概要.....	11
(2) 調査結果の概要.....	11
4 スポーツ関係団体等ヒアリング調査結果の概要.....	18
(1) スポーツ関係団体等ヒアリングの実施概要.....	18
(2) 調査結果の概要.....	18
5 前計画の目標に対する進捗状況.....	20
第3章 計画の理念.....	21
1 基本理念.....	21
2 目指す将来像.....	21
3 計画のイメージ.....	21
4 基本的な方向性.....	22
5 数値目標の設定.....	22
6 施策の体系.....	23

第4章 施策の方向性.....	24
1 いつでもスポーツ.....	24
(1) スポーツ行事等の開催.....	25
(2) ライフスタイルに応じたスポーツの促進.....	25
(3) 健康目標を踏まえたスポーツの促進.....	26
2 どこでもスポーツ.....	27
(1) スポーツ施設等の維持・整備.....	28
(2) 学校体育施設等の利用促進.....	29
(3) 指導者等の育成・支援.....	29
(4) スポーツに関する情報の提供.....	30
3 だれでもスポーツ.....	31
(1) 幼児期からの運動・スポーツの推進.....	32
(2) 競技スポーツの振興.....	33
(3) 高齢者の運動習慣づくり.....	33
(4) 障害のある人のスポーツ促進.....	34
(5) ライフステージにあわせたスポーツの促進.....	34
4 地域でスポーツ.....	35
(1) 地域団体等への支援.....	36
(2) スポーツボランティア活動の推進.....	36
(3) スポーツによる交流の推進.....	37
第5章 推進体制の整備.....	38
1 進捗管理.....	38
2 庁内の連携体制.....	38
3 関係団体、広域的な連携体制の整備.....	38
資料編.....	39
目標指標一覧.....	39
用語説明.....	40
市民アンケート結果.....	42
東広島市スポーツ推進審議会設置条例.....	63
東広島市スポーツ推進審議会委員名簿.....	65

第1章 計画の総論

1 計画策定の趣旨

本市では、これまで平成19年3月に策定した「東広島市スポーツ振興計画」に基づき、「いつでも・どこでも・だれもが楽しめる生涯スポーツ社会の実現」を目指し、関係団体と調整を図りながらスポーツ振興の諸施策を展開してまいりました。

この間、わが国では平成23年6月に「スポーツ振興法」を全部改正した「スポーツ基本法」が施行されました。スポーツ基本法では、スポーツを「世界共通の人類の文化」とし、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものとしています。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人との交流及び地域と地域との交流は、地域の一体感や活力を醸成するものであり、地域社会の再生に寄与するものであると考えられます。

平成24年3月には同法に基づき「スポーツ基本計画」が策定され、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」の創出を目指し、子どものスポーツ機会の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進といった政策目標が設定されています。

こうした中、本市では、現行計画の終了年度である平成28年度に、これまでのスポーツ振興の取組の進捗状況やスポーツに関する市民意識の状況を把握し、本市のスポーツをとりまく社会情勢の変化を踏まえた見直しを行い、今後の東広島市のスポーツ振興施策の一層の充実を図ることを目的に、東広島市スポーツ推進計画（平成29年度～平成38年度）を策定することとしました。

2 法的根拠

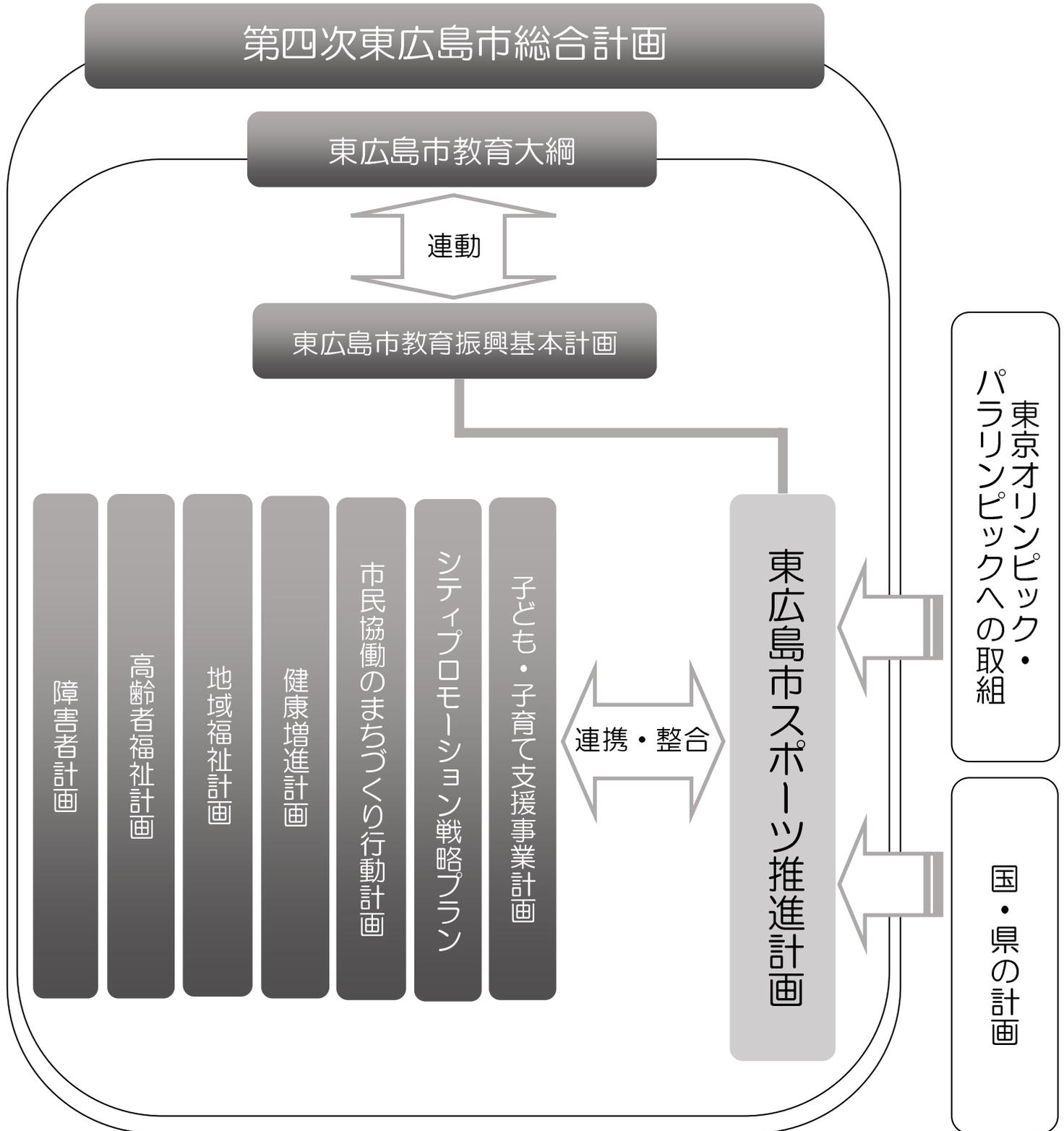
本計画は、スポーツ基本法第10条に基づく、地方スポーツ推進計画です。計画の策定にあたっては国のスポーツ基本計画や県のスポーツ推進計画を踏まえるとともに、市の上位計画である「第四次東広島市総合計画」や関連計画である「健康増進計画」、「子ども・子育て支援事業計画」等と連携し、体系的なスポーツ施策を定めます。

3 計画の期間

本計画は、平成29年度から平成38年度の概ね10年間を計画の期間とします。また、国や県における施策や社会情勢の変化を勘案し、必要に応じて随時見直しを行うものとします。

4 関連計画等との整合

本計画は、第四次東広島市総合計画をはじめ、関連する計画等との整合性を図りながら推進していくものとします。



5 計画の策定体制・手法

(1) アンケート調査の実施

計画の策定にあたり、本市に在住する市民の運動・スポーツの実施状況やスポーツ施設等の利用状況、今後のスポーツ活動に対する意向等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2) スポーツ関係団体等へのヒアリング調査の実施

地域におけるスポーツ振興の活動の実施状況や課題等について把握するため、市内を中心に活動するスポーツ関係団体等を対象にヒアリング調査を実施しました。

(3) 東広島市スポーツ推進審議会による審議

計画を策定するにあたり、スポーツの推進に関する幅広い意見を反映させるため、スポーツ推進に係る有識者、地域の関係機関・団体等で構成されるスポーツ推進審議会を開催し、計画の進捗評価や策定に向けた施策の検討等の審議を実施しました。

(4) パブリックコメントの実施

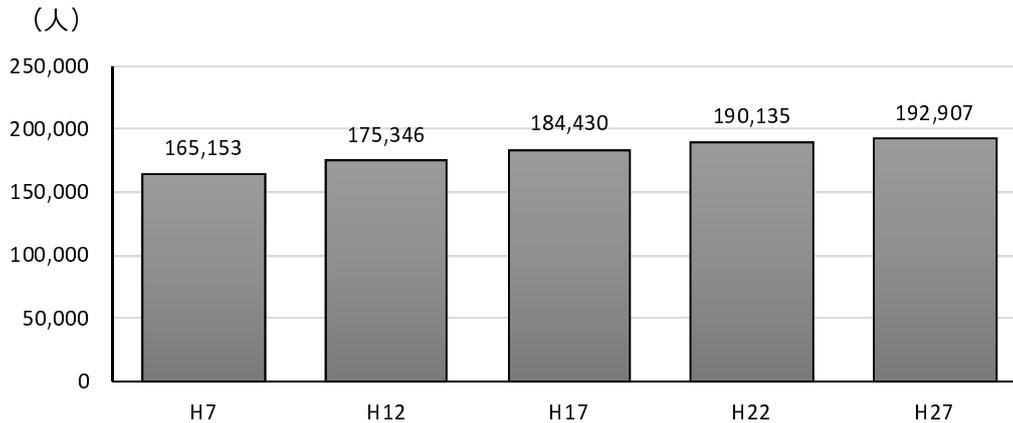
本計画案について、パブリックコメントを実施することにより、広く市民から意見を聴取しました。

第2章 東広島市のスポーツを取り巻く現状

1 人口の現状

(1) 東広島市の人口の推移

総人口は、増加傾向で推移していますが、近年は増加が緩やかになっています。

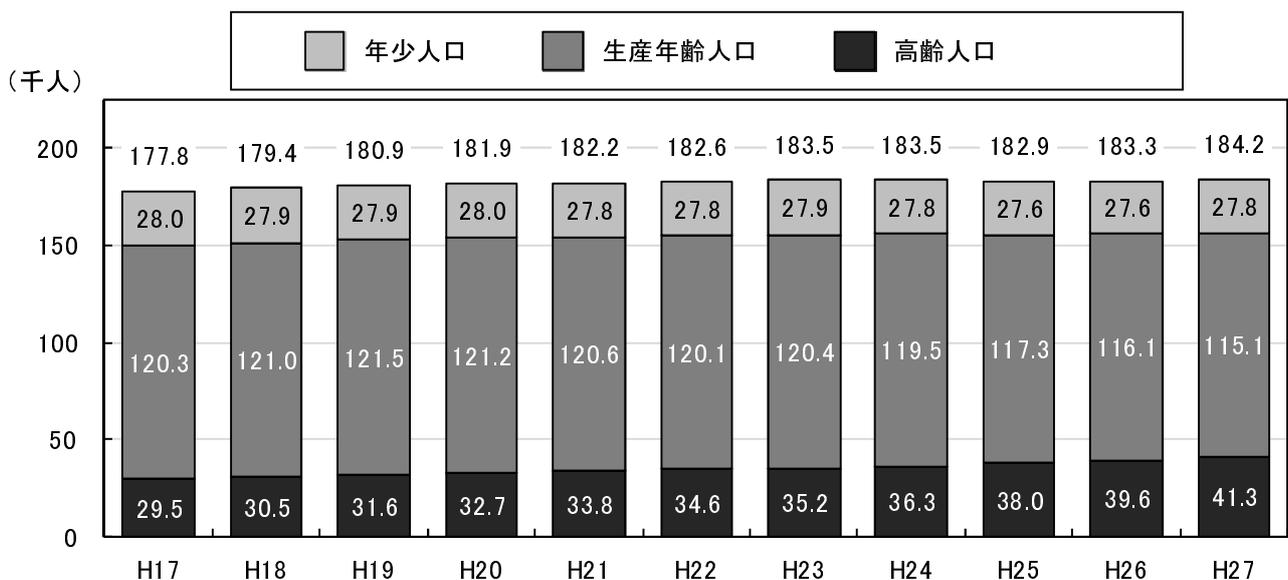


資料：国勢調査

(2) 年齢3区分別人口

総人口の推移を住民基本台帳人口で見ると、近年は増加傾向で推移してきましたが、平成25年に微減に転じ、その後、再度増加傾向で推移するなど、人口増加傾向が鈍化しています。また、生産年齢人口の構成比の低下が大きく、高齢化率も22.4%まで上昇しています。

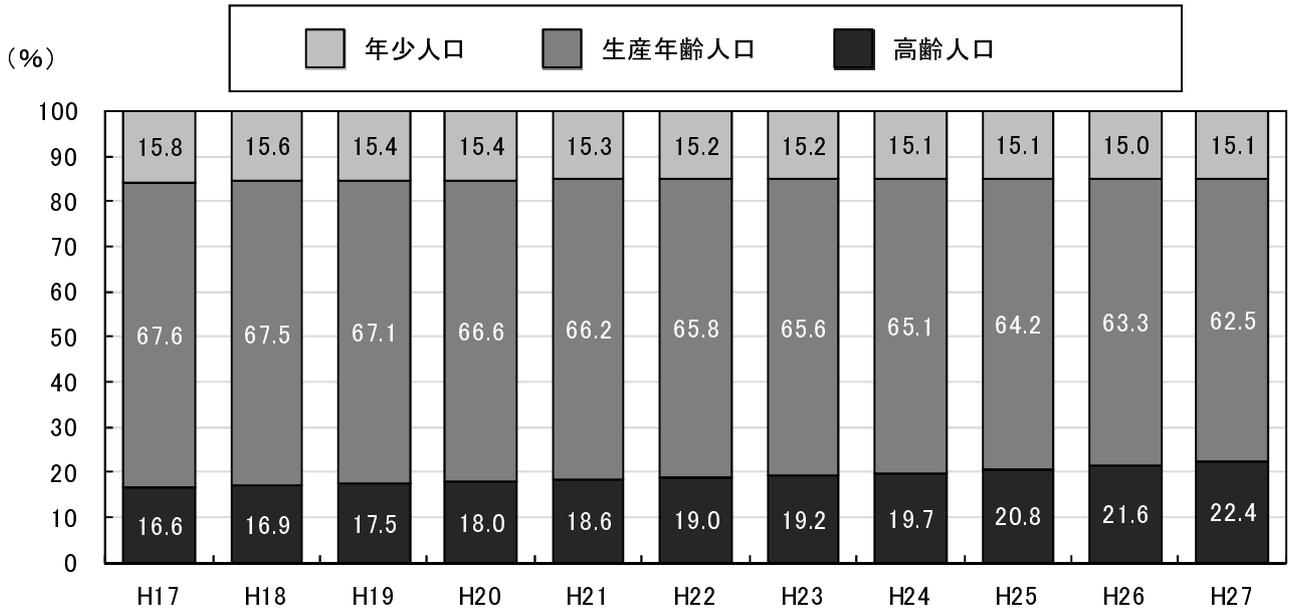
■ 近年の総人口の推移



(注) 1. H24年以前は住民基本台帳人口に外国人登録者数を積算して作成
2. 各年3月末現在の数値

資料：東広島市「住民基本台帳」

■ 年齢構成の推移

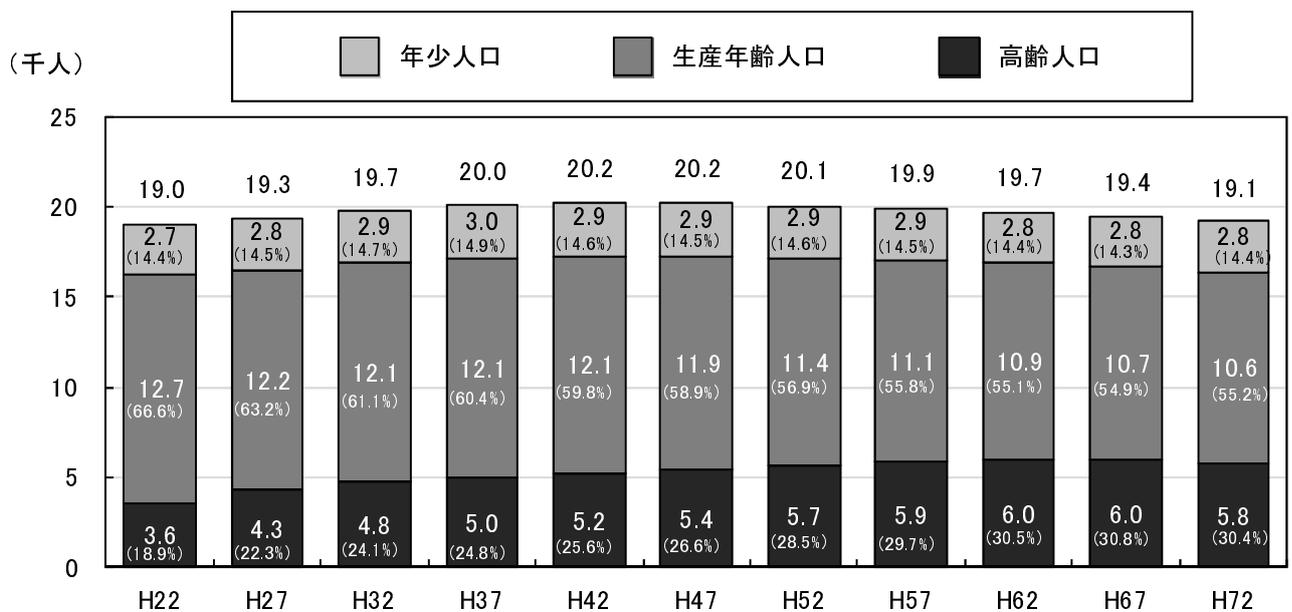


資料：東広島市「住民基本台帳」

(3) 将来人口（人口ビジョンの目標推計結果）

東広島市長期人口ビジョン（平成27年10月策定）における目標推計では、平成37年に人口20万人に達した後に微増し、その後、減少局面に移行していきます。高齢者数は今後も増加していくと推計されています。

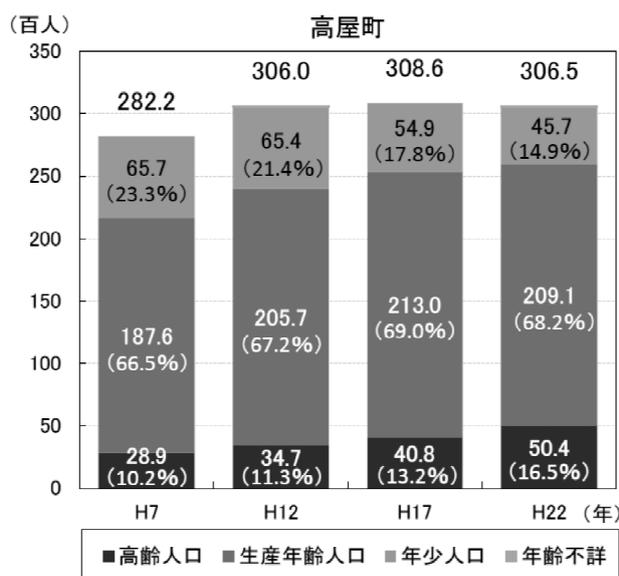
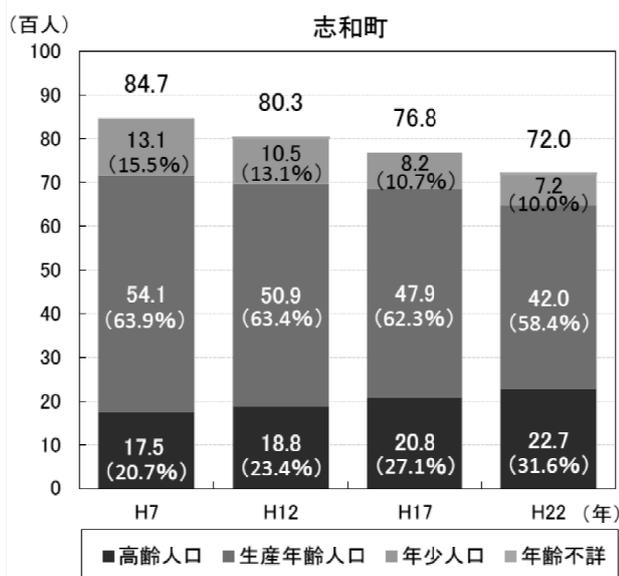
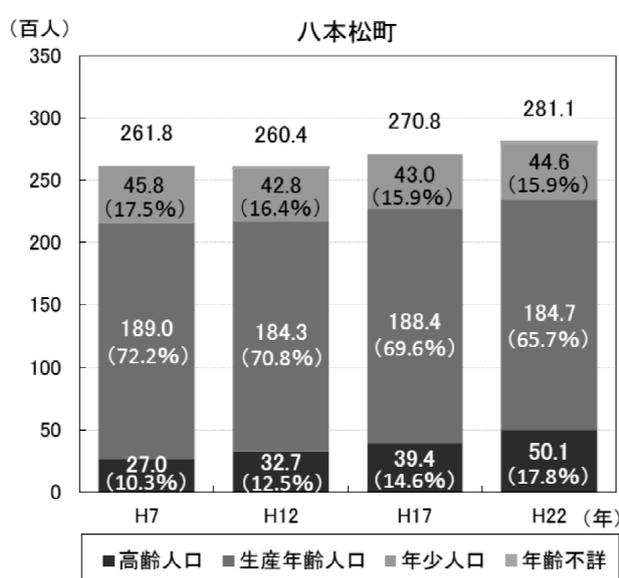
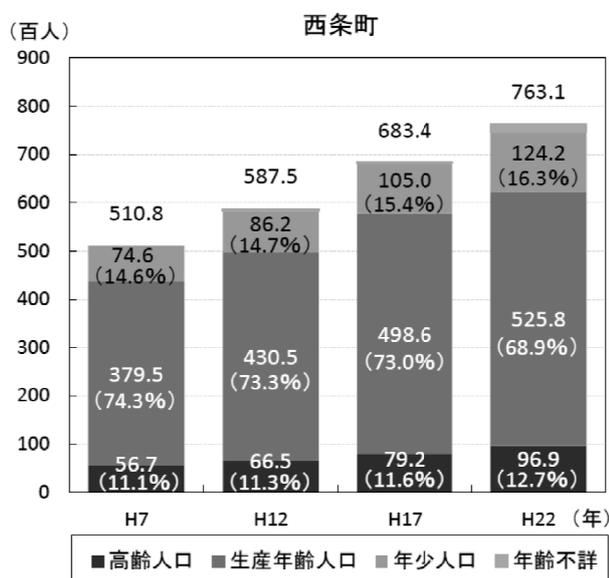
■ 長期人口ビジョンにおける目標推計結果の推移

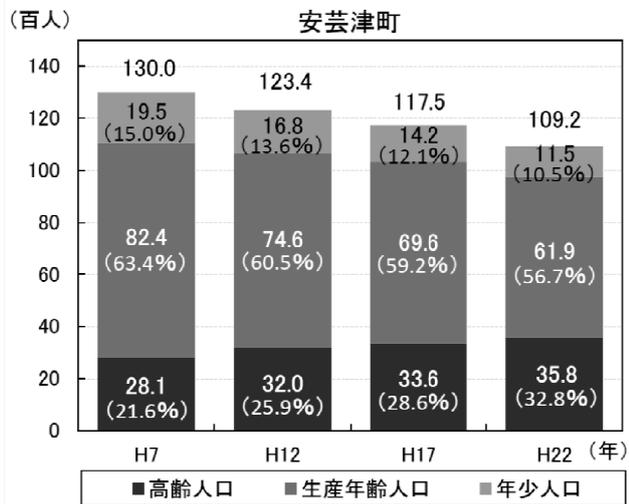
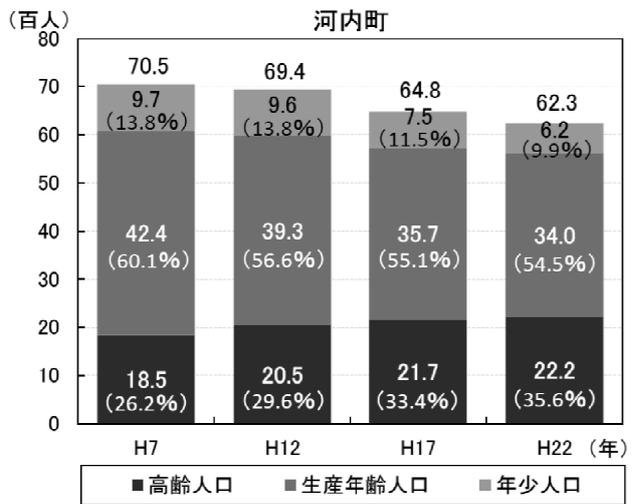
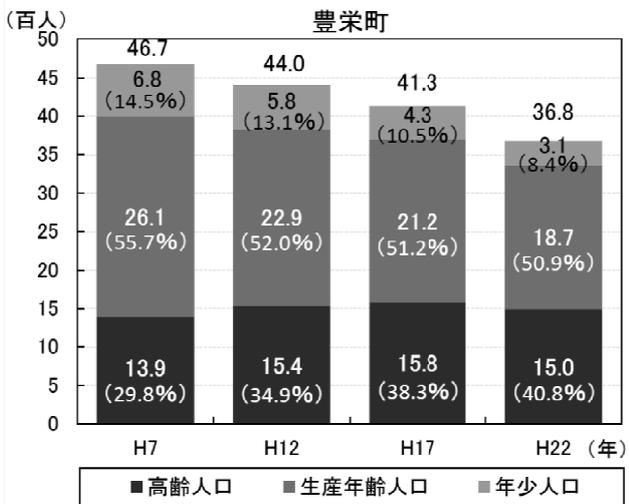
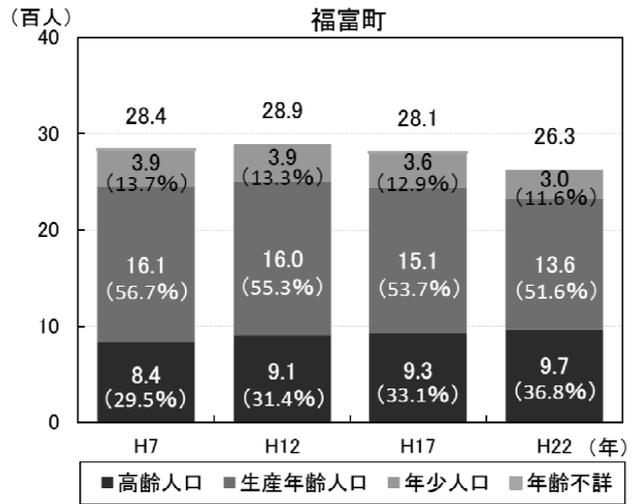
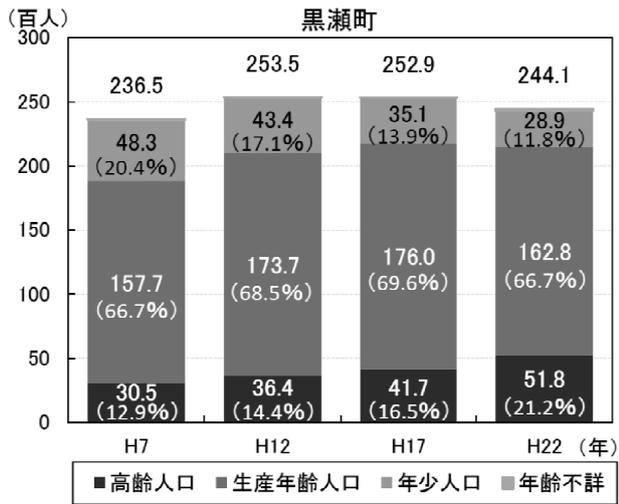


資料：東広島市長期人口ビジョン

(4) 各地域の人口の推移

地区別人口をみると、西条町は一貫して増加しており、高齢化率も低水準にあります。八本松町は、総人口が微増傾向ですが高齢化率が高まりつつあります。志和町は、減少傾向にあり、生産年齢人口が60%を下回り、高齢化率は30%を超えています。高屋町は、平成17年をピークに減少に転じており、高齢化率も高まりつつあります。黒瀬町は、平成12年をピークに減少しており、平成22年には高齢化率が20%を超えています。福富町は、平成22年に減少傾向が大きくなっており、高齢化率は36.8%に達しています。豊栄町は、減少傾向が続いており、平成22年には高齢化率が40%を超えています。河内町も減少傾向が続いており、平成22年には高齢化率が35%に達しています。安芸津町は、減少傾向が続いており、平成22年には高齢化率が30%を超えています。





資料：国勢調査

2 スポーツを取り巻く環境

(1) 市内の主なスポーツ関係団体

①東広島市体育協会

東広島市体育協会へ加入している競技団体及び地域団体は、次のとおりです。

○競技団体

陸上競技協会	卓球協会	ゴルフ協会
軟式野球連盟	ゲートボール協会	バスケットボール協会
バレーボール協会	空手道連盟	バドミントン協会
ソフトテニス連盟	ソフトボール協会	ビーチボールバレー協会
サッカー協会	剣道協会	グラウンド・ゴルフ協会
柔道連盟	ラグビーフットボール協会	水泳連盟
テニス協会	レスリング協会	太極拳協会

○地域団体

黒瀬体育振興会	福富体育振興会	豊栄体育振興会
河内体育振興会	安芸津体育振興会	

②東広島市スポーツ少年団

東広島市のスポーツ少年団は、平成28年9月末現在で、78団体が登録しています。主な活動内容は次の通りです。

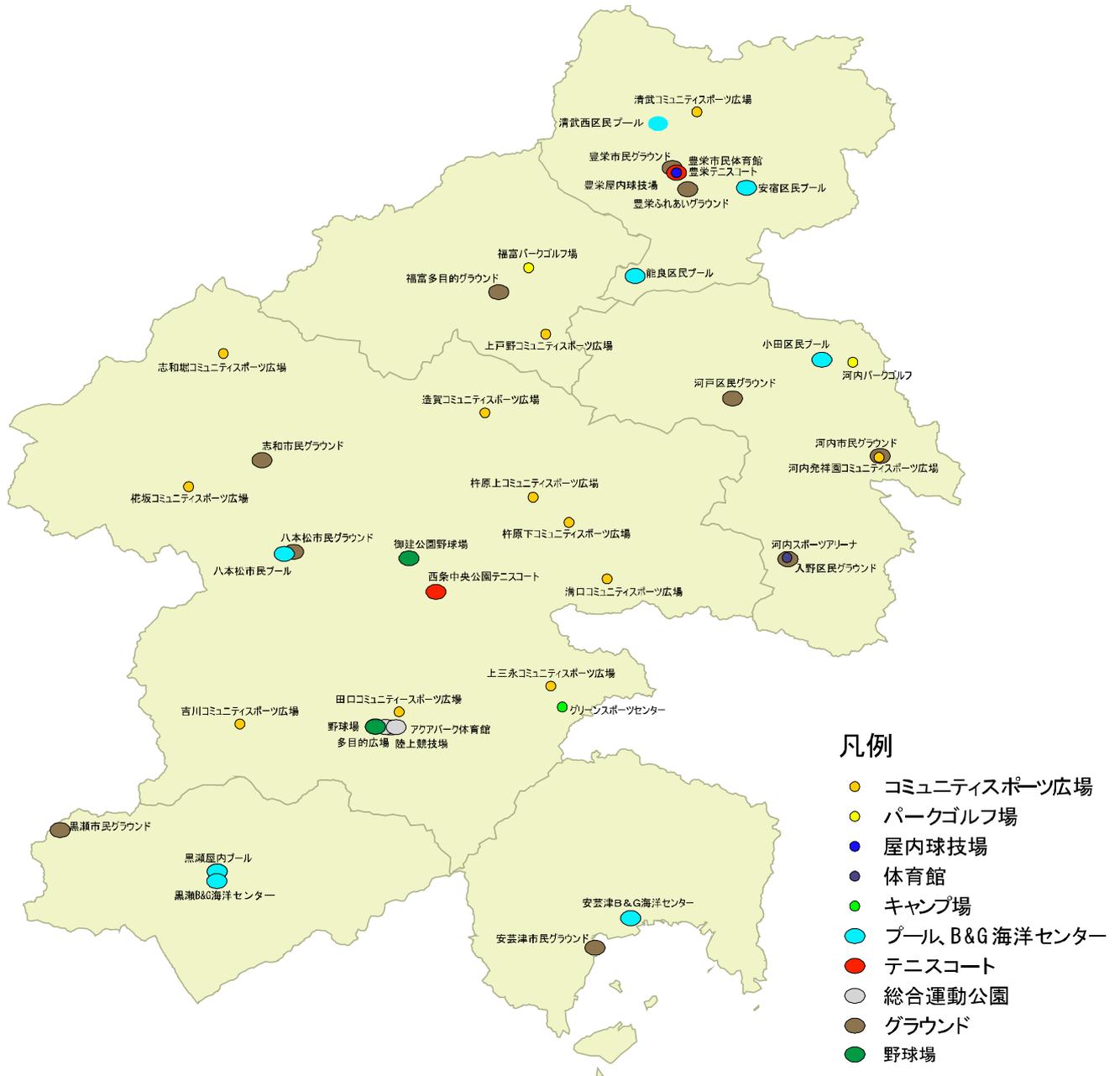
陸上競技、競泳、サッカー、バレーボール、バスケットボール、 ミニバスケットボール、レスリング、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、 剣道、空手道、野球、野外活動、バトントワリング、ソフトバレーボール

③総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとは、老若男女を問わず誰もが興味と関心に応じてスポーツに親しむことができる、地域のスポーツ活動の新しいかたちのことを指します。その特徴としては、「多種目」、「多世代」、「多志向」が挙げられます。

東広島市では「わくわくスポーツランドこうち」が、総合型地域スポーツクラブとして活動しています。

(2) 東広島市スポーツ施設等の配置状況



(3) 主なスポーツ行事等の開催状況

① さわやかウォーク

「いつでも、どこでも、誰もが気軽」に参加できるウォーキングイベント

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加人数	268	369	303	235	306	310	200	167	77
実施回数	2	2	2	2	2	2	2	2	1

② サタデー！外で！遊ぼうDAY！

昔遊びやニュースポーツを通じて、遊ぶことの楽しさを体験できるイベント

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加人数	501	530	486	332	157	110	164	93	163
実施回数	9	5	9	7	4	3	4	2	2

③ 市民スポーツ大会

全市民が参加可能なスポーツ大会

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加人数	7,700	7,700	8,000	8,000	6,100	7,800	7,400	6,000	8,000

④ 県央競歩大会

全国的にも特色ある競歩大会

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加人数	158	188	168	208	230	247	253	313	330

⑤ 新春駅伝競走大会

生涯スポーツの推進や体力づくりの啓発を目的とした駅伝大会

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加チーム数	133	135	152	中止	159	158	155	174	190

⑥ 生きがい健康体育大学

健康に対する知識を深めるとともに、生涯にわたり生きがいをもって生活を送ることができる資質を養うことを目的に開催する事業

単位	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
参加人数	27	19	23	15	20	28	16	23	20

3 市民アンケート調査結果から見る現状・課題

(1) 市民アンケート調査の実施概要

調査対象者	東広島市にお住まいの18歳以上の方から無作為抽出		
調査数	2,000名		
調査方法	郵送による配布・回収		
調査票回収数	879件	回収率	44.0%

(2) 調査結果の概要

① スポーツへの関心について

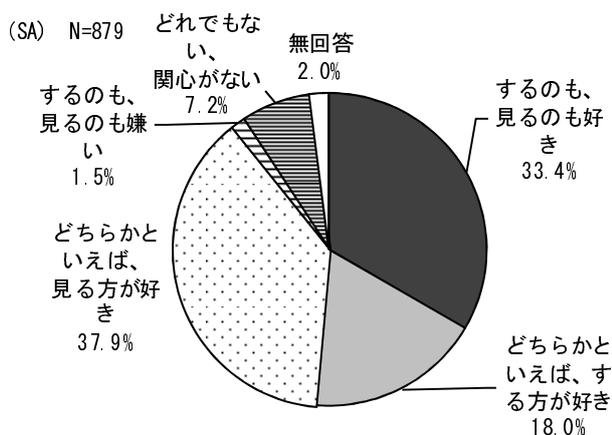
運動やスポーツについて「好き」と回答した人が大半を占めています。一方、現在スポーツをしていない人のうち、今後スポーツを始めたい人の割合は約4割となっており、実際のスポーツ活動につながっていない状況がうかがえます。

現在運動・スポーツ活動を行っている人の多くが「健康・体力づくり」と「楽しみ・気晴らし」を目的としており、こうした運動へ関わることの気軽さや健康等への効果を情報発信し、市民のスポーツへの関心を高めていくことが大切です。

運動やスポーツに対し、すること・見ることを含め「好き」と回答した人は全体で約9割を占めています。

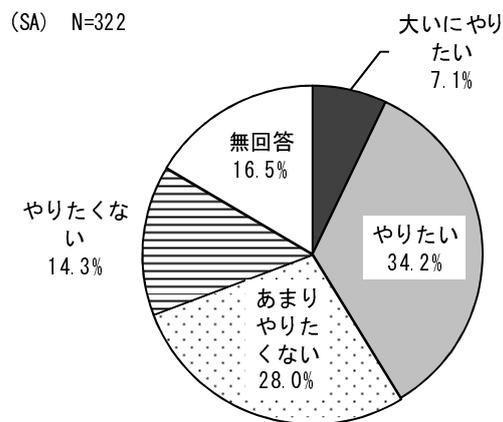
現在スポーツをしていない人のうち、今後スポーツをはじめることに対し「大いにやりたい」「やりたい」の割合は約4割となっています。

■ あなたは運動やスポーツが好きですか。



現在、運動・スポーツをしていない人のみ回答

■ 今後、運動・スポーツを始めたいと思いますか。

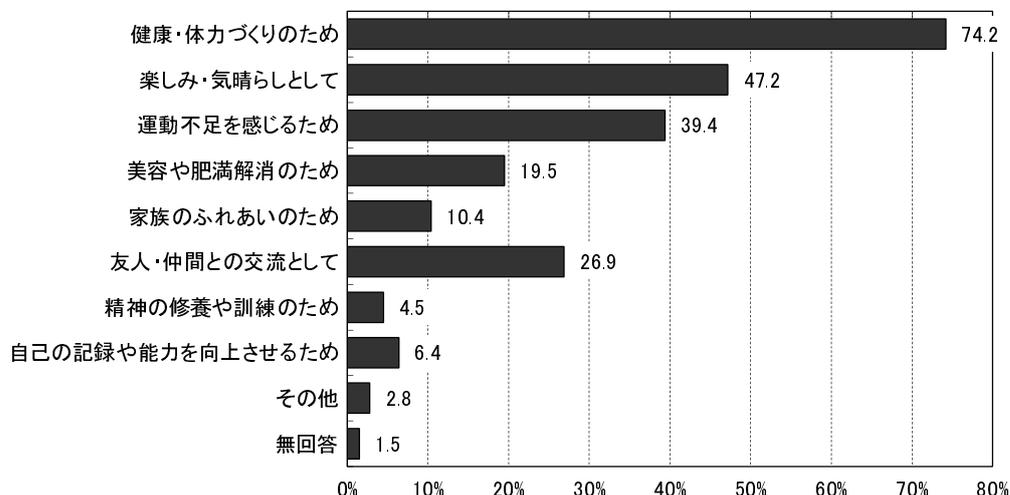


運動・スポーツをしている目的として、「健康・体力づくりのため」が7割強で最も高く、次いで「楽しみ・気晴らしとして」、「運動不足を感じるため」の順となっています。

現在、運動・スポーツをしている人のみ回答

■あなたは、何の目的で運動・スポーツをしていますか。

(MA) N=528



②スポーツ行事・教室について

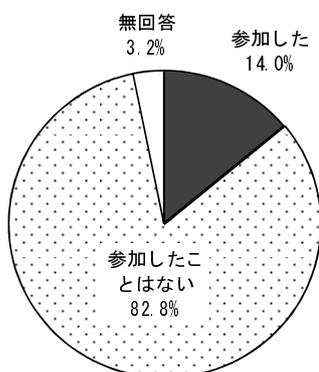
市や地域で行っているスポーツ行事へ参加したことがない人が大半となっており、参加していない人の半分が行事を知らなかったと回答しています。スポーツ行事・教室の開催について、積極的な周知と関心を引く参加しやすい内容づくりが求められます。

運動・スポーツ行事への参加については「参加したことはない」が8割弱となっています。

参加したことがない理由は、「知らなかったから」、「知っていたが、興味がなかったから」、「知っていたが、内容、場所、時間など自分の望むものでなかったから」の順となっています。

■この1年間に、市や地域の運動・スポーツの行事に参加したことがありますか。

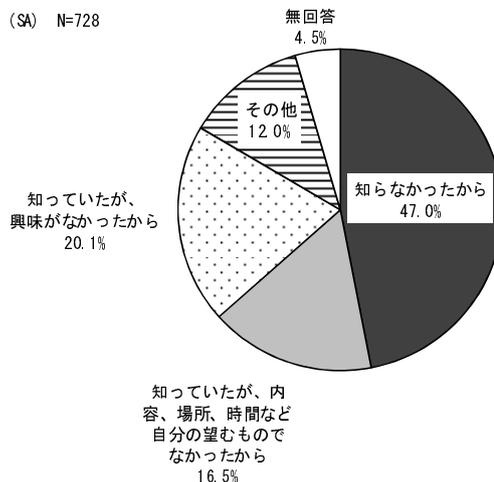
(SA) N=879



参加したことがない人のみ回答

■参加したことがないのは、どういう理由からですか。

(SA) N=728

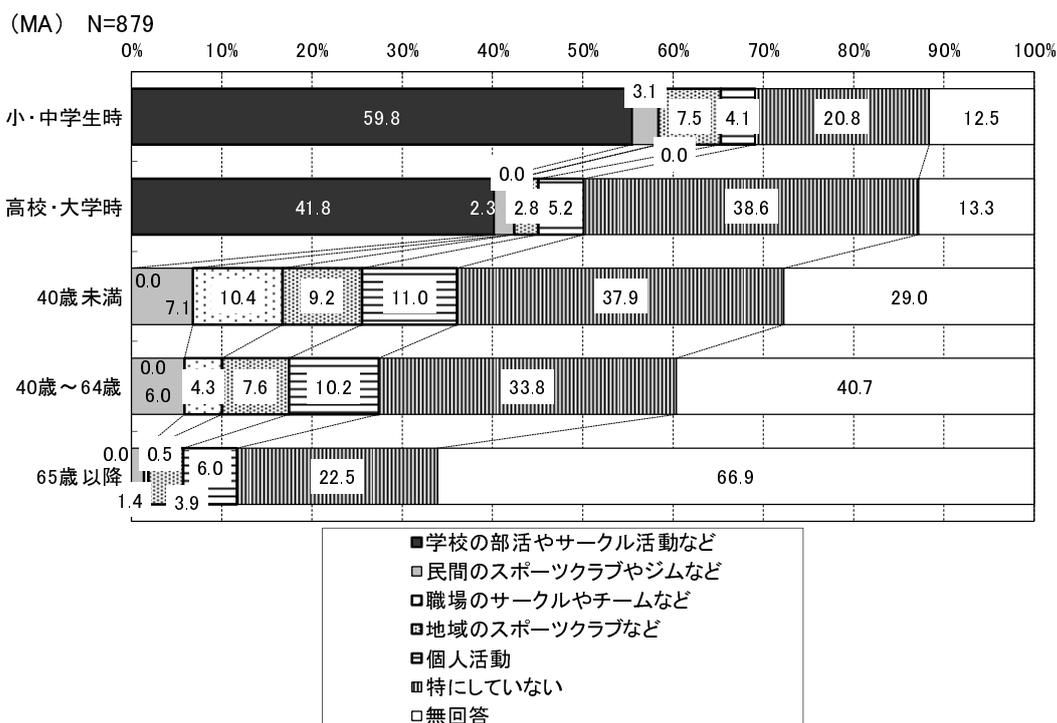


③運動・スポーツの機会について

小・中学校では部活等でスポーツに関わる人が約6割となっているものの、その後は特にしていない人が多くなる傾向があります。また、スポーツをひとり・家族で行っている人が多く、スポーツを始めたり継続していけるような、仲間づくりができる仕組みが必要です。

運動やスポーツを行っていた時期と内容を見ると、小学校から大学生にかけて「学校の部活やサークル活動など」が高く、その後の年齢層では「特にしていない」の割合が高くなっています。

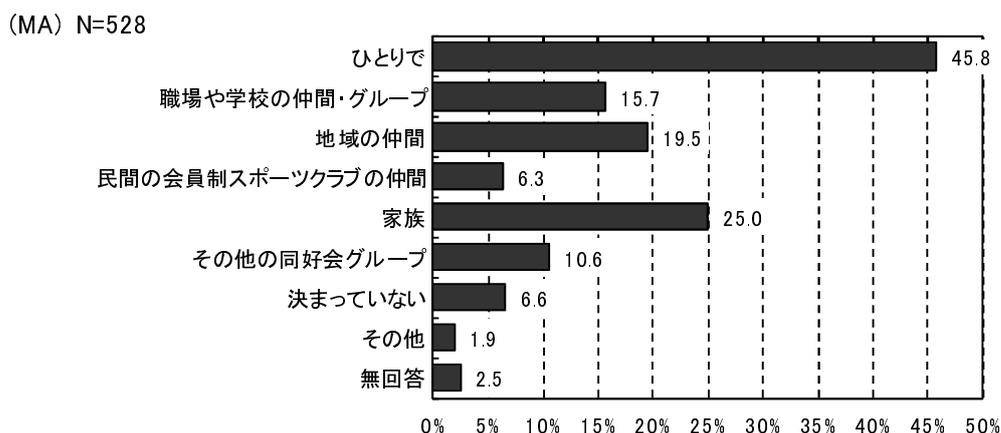
■ 次の世代の時期に運動やスポーツを行っていましたか。



運動・スポーツを主に誰としているかでは「ひとりで」が最も高く、次いで「家族」、「地域の仲間」の順となっています。

現在、運動・スポーツをしている人のみ回答

■ あなたが運動・スポーツをするとき、主に誰としていますか。



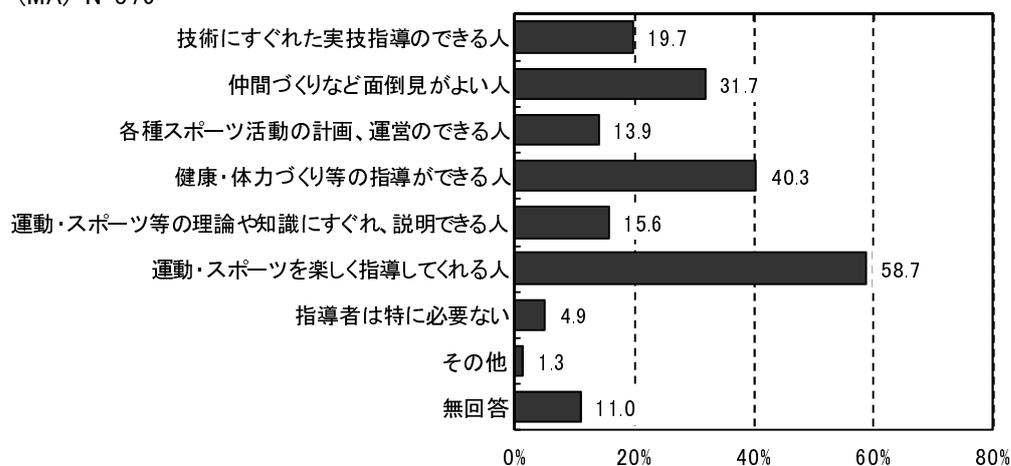
④地域のスポーツ指導員等について

スポーツ指導を行う人材にはスポーツの魅力を楽しく伝えてくれることが重要です。加えて、健康づくり等に資する指導を行える人材を確保していくことが求められます。

運動指導士やスポーツの指導員に求めるものとして、「運動・スポーツを楽しく指導してくれる人」、「健康・体力づくり等の指導ができる人」、「仲間づくりなど面倒見がよい人」の順に割合が高くなっています。

■市内に運動指導士やスポーツの指導員などを配置する場合、どんな指導者を望みますか。

(MA) N=879



⑤施設等の環境について

自宅や公園等でスポーツをしている市民が多くなっています。気軽に利用できる身近な公共施設が求められており、身近な活動の場づくりが必要です。

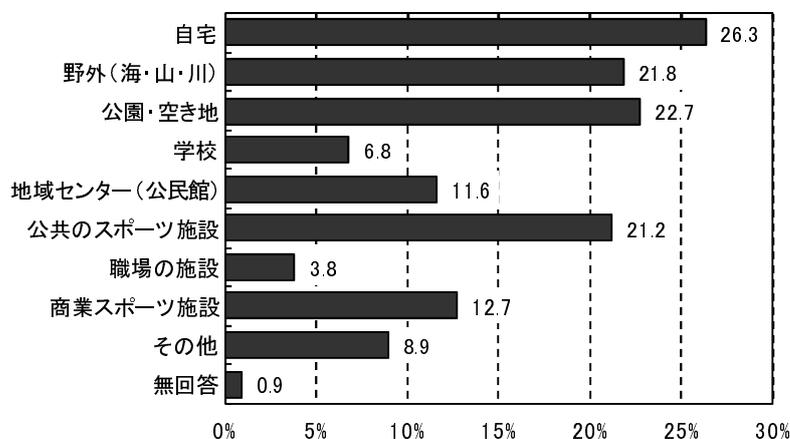
運動・スポーツを行っている場所は「自宅」、「公園・空き地」、「野外（海・山・川）」に続き、「公共のスポーツ施設」は21.2%で4番目に高くなっています。

スポーツ振興に関して重要と思うこととして、「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」が65.4%で最も高くなっています。

現在、運動・スポーツをしている人のみ回答

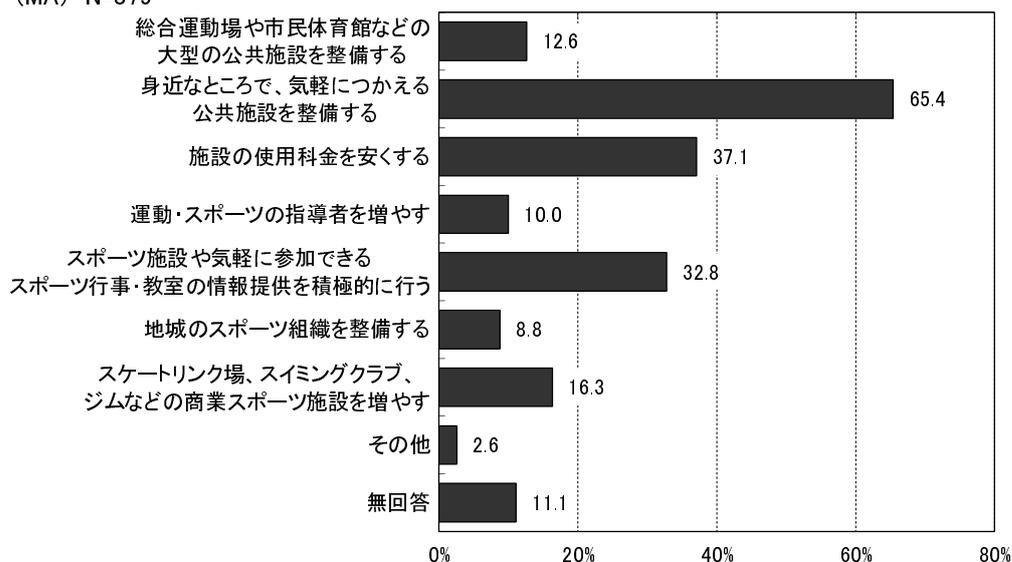
■あなたが運動やスポーツを行っている場所

(MA) N=528



■将来、東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか。

(MA) N=879



⑥総合型地域スポーツクラブについて

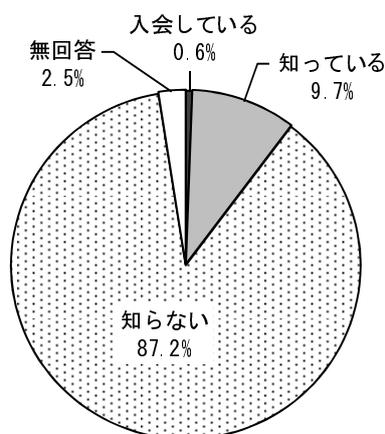
総合型地域スポーツクラブの活動に対する認知は低い状況となっています。身近で行われているスポーツ活動団体の周知を進めるとともに、参加しやすい仕組みの検討が必要です。

総合型地域スポーツクラブの認知度は約1割となっています。

地域のクラブやグループへ参加するうえで「身近な場所で行われること」、「安い参加費であること」、「参加しやすい日時であること」が重要視されています。

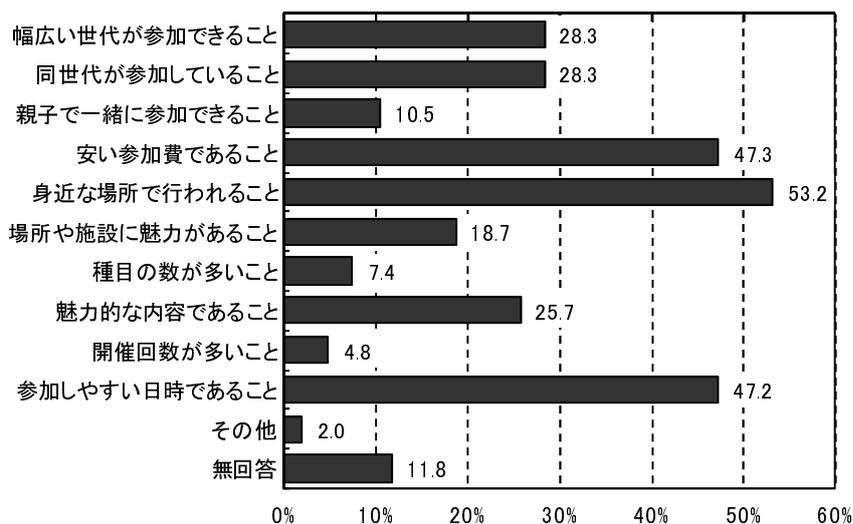
■あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。

(SA) N=879



■地域のクラブやグループに参加する場合、どのようなことが重要だと思いますか。

(MA) N=879



⑦スポーツに関する情報提供について

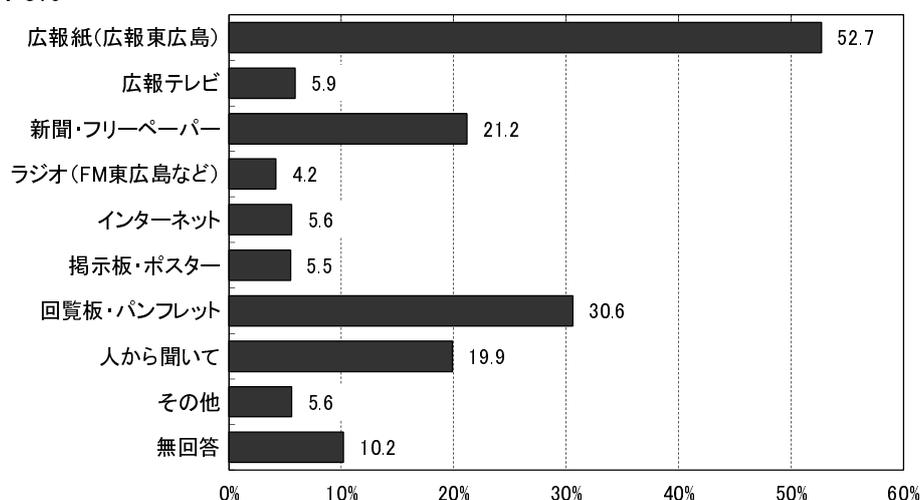
今後もスポーツ活動を推進していくうえで、広報紙をはじめ地域で情報を共有できる情報発信の仕組みづくりが求められます。

スポーツに関する情報の入手先は「広報紙（広報東広島）」、「回覧板・パンフレット」、「新聞・フリーペーパー」の割合が高くなっています。

スポーツ振興に関して重要と思うこととして、「スポーツ施設や気軽に参加できるスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」が32.8%で3番目に高くなっています。

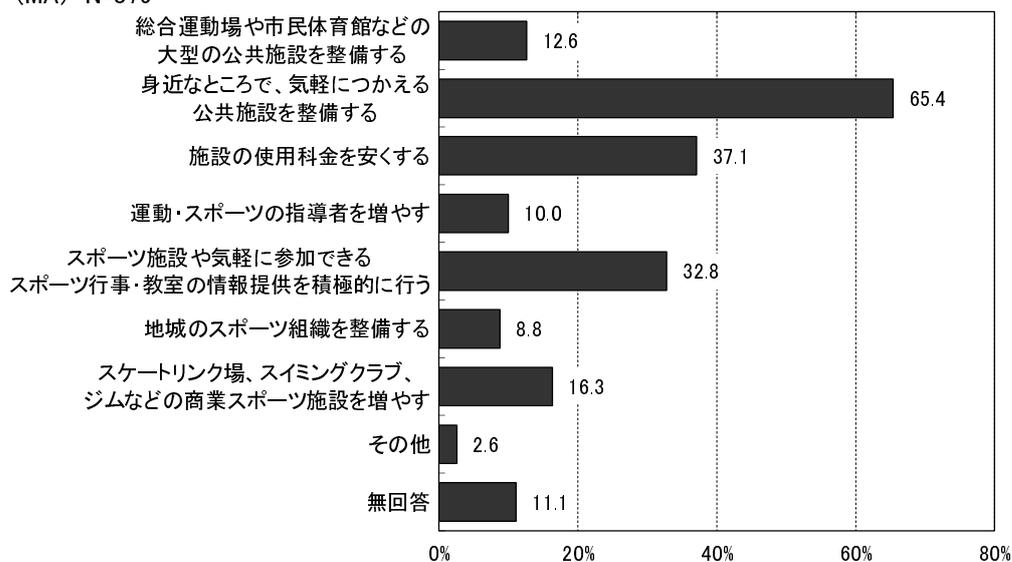
■市や地域の運動・スポーツ行事の情報は、主にどこから得ていますか。

(MA) N=879



■将来、東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか。(再掲)

(MA) N=879



4 スポーツ関係団体等ヒアリング調査結果の概要

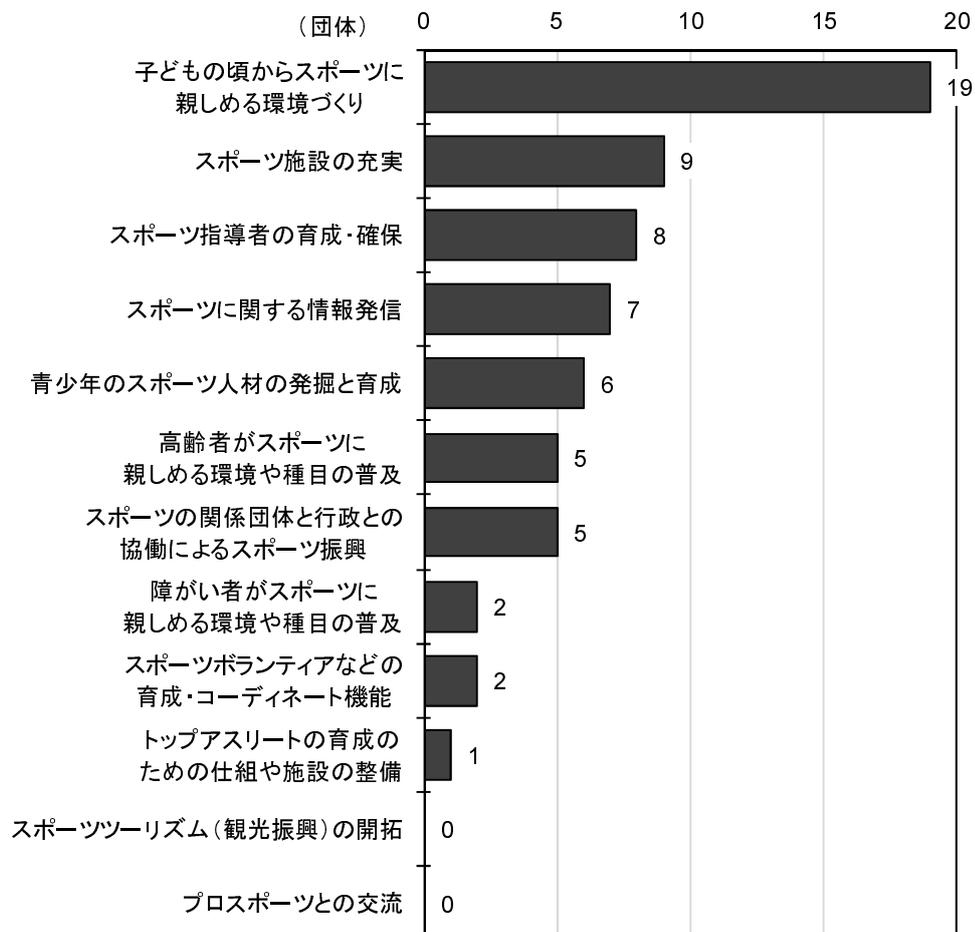
(1) スポーツ関係団体等ヒアリングの実施概要

調査対象者	東広島市を中心に活動するスポーツ関係団体等		
調査団体数	34団体		
調査方法	郵送による配布・回収		
回答団体数	21団体	回収率	61.76%

(2) 調査結果の概要

今後、本市が力を入れる必要がある施策として「子どもの頃からスポーツに親しむ」ための取組の強化が考えられます。子どもたちがスポーツに取り組めるよう、スポーツ施設等の整備・充実、プロスポーツ選手との交流、多様な競技の体験などに取り組みたいと考える団体が多くあります。

①特に力を入れる必要があると思われる施策



②今後、取り組んでみたい活動等

指導者向けに幼児を対象とした遊びを通しての育成プログラム講習
東広島市陸上競技選手権大会
小学校の体育授業として「タグラグビー」の導入
東広島地区中学校野球大会を継続
広島東洋カープの選手による野球教室
オリンピック選手による陸上・バレー等の教室
トップ選手を呼んでの講習会
高齢者対象の太極拳や子ども対象の太極拳活動
東広島市内のクラブチームとの競技会の開催
市民が精神的・身体的に健康でいられるよう、スポーツを通して貢献

③本市のスポーツ推進に対するご意見

各スポーツ団体への予算措置の充実
施設等が自由に使用できる環境づくり
市内のスポーツが発展、活発になるようお願いしたい
卓球台の修理や買い替えなどをもっとスムーズにしてもらいたい
陸上への支援に偏りがあると思われる
福祉課とも連携し、継続した生涯スポーツを提供できるようにしてほしい
福富グラウンドにソフトボール用バックネット等がなく不便
志和市民グラウンドの状況を把握して整備してもらいたい
各団体が連携を図ることのできる環境を整備

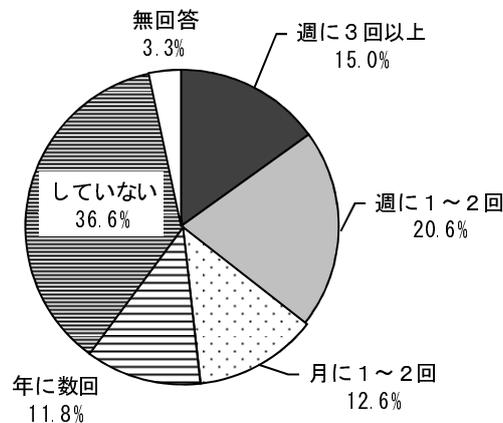
5 前計画の目標に対する進捗状況

前回計画では、市民の50%以上が週1回以上のスポーツに取り組むことを目標としていましたが、平成28年度の調査においては36.8%となっており、達成率は73.6%となっています。10歳代～50歳代の比較的若い世代において、特にその割合が低く、身近な場所で気軽に運動・スポーツに取り組むことができる環境づくりを引き続き推進する必要があります。

前計画の目標	市民の運動・スポーツの実施率（週1回以上）50%以上
平成28年度現状	36.8%（H28市民アンケート（無回答を除く））
進捗率	73.6%

■運動・スポーツを行う頻度はどのくらいですか。

（SA） N=879



[年齢別集計]

上段:度数 下段:%	全体	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	していない	無回答
全体(N)	879	132	181	111	104	322	29
	100.0	15.0	20.6	12.6	11.8	36.6	3.3
10歳代	19	3	3	1	5	7	-
	100.0	15.8	15.8	5.3	26.3	36.8	-
20歳代	71	5	16	13	9	25	3
	100.0	7.0	22.5	18.3	12.7	35.2	4.2
30歳代	120	9	18	24	19	48	2
	100.0	7.5	15.0	20.0	15.8	40.0	1.7
40歳代	121	15	22	19	18	44	3
	100.0	12.4	18.2	15.7	14.9	36.4	2.5
50歳代	142	21	29	19	21	50	2
	100.0	14.8	20.4	13.4	14.8	35.2	1.4
60歳代	179	35	44	17	16	61	6
	100.0	19.6	24.6	9.5	8.9	34.1	3.4
70歳以上	207	40	45	14	12	83	13
	100.0	19.3	21.7	6.8	5.8	40.1	6.3
無回答	20	4	4	4	4	4	-
	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-

第3章 計画の理念

1 基本理念

スポーツで地域を創るまち東広島

スポーツは今日、だれもが生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものとなっています。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利でもあります。

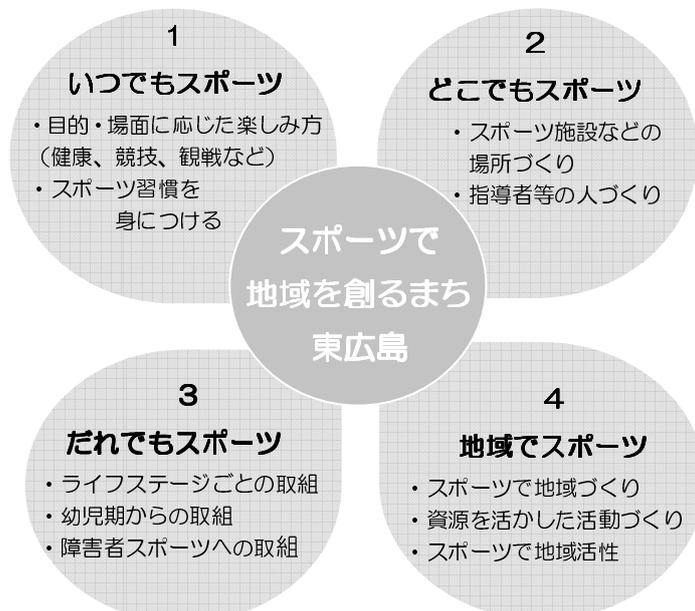
東広島市では、すべての市民が自発的に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を提供することで、心身ともに生き甲斐を実感し、豊かな人生を送るための支援に努めていきます。

そのため、「いつでも」運動やスポーツに参加できる機会の充実、「どこでも」スポーツを楽しめる場所や人の確保、生涯を通じて「だれでも」楽しめるスポーツ機会の充実を通して、「地域で」活発に運動・スポーツを楽しむことにより生まれる地域のつながりを活かしたスポーツによるまちづくりを目指します。

2 目指す将来像

- 1 子どもから高齢者まで、いつでもスポーツを始め、楽しめるまち
- 2 東広島市のどこで暮らしていても、スポーツに親しめる機会を得られるまち
- 3 年齢や心身の能力、障害の有無にかかわらず、だれでもスポーツを楽しめるまち
- 4 地域スポーツを推進し、みんなで誘いあってスポーツができる仕組みがあるまち

3 計画のイメージ



4 基本的な方向性

方向性1 いつでもスポーツ

運動やスポーツを楽しんでいる人々は、健康を保つこと、競技へ参加すること、競技を観戦することなど、それぞれの目的や趣味・趣向に沿って様々なスポーツに触れ、楽しんでいます。

市民の運動やスポーツへの関心が高められるよう、いつでも様々なスポーツに触れられる機会を充実していくとともに、実際に運動やスポーツに気軽に参加し習慣づけられる仕組みづくりを目指します。

方向性2 どこでもスポーツ

市民が運動やスポーツを実践していくうえで、スポーツのやり方について教えてくれる「人材」やスポーツを行える「場所」が確保されていることが重要です。

そのため、スポーツの楽しさを伝えられる指導者等の育成や、いつでも気軽に運動やスポーツを楽しめる施設・設備の確保と充実に取り組んでいきます。

方向性3 だれでもスポーツ

市民の誰もが、体力や年齢、障害の有無などに関わらず、それぞれが持つ興味や目的に応じて、自分の希望するスポーツに参加し親しむことができるよう、関係機関等とも連携し、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進に取り組みます。

また、幼児期から運動やスポーツに触れ、生涯を通じてスポーツを楽しめる人が増えるよう、スポーツと接する機会の充実を図ります。

方向性4 地域でスポーツ

地域には様々なスポーツ活動を行っている団体があり、スポーツを通じた交流や生きがい活動に取り組んでいます。こうした活動は、地域の一体感の醸成や活性化につながることを期待されます。

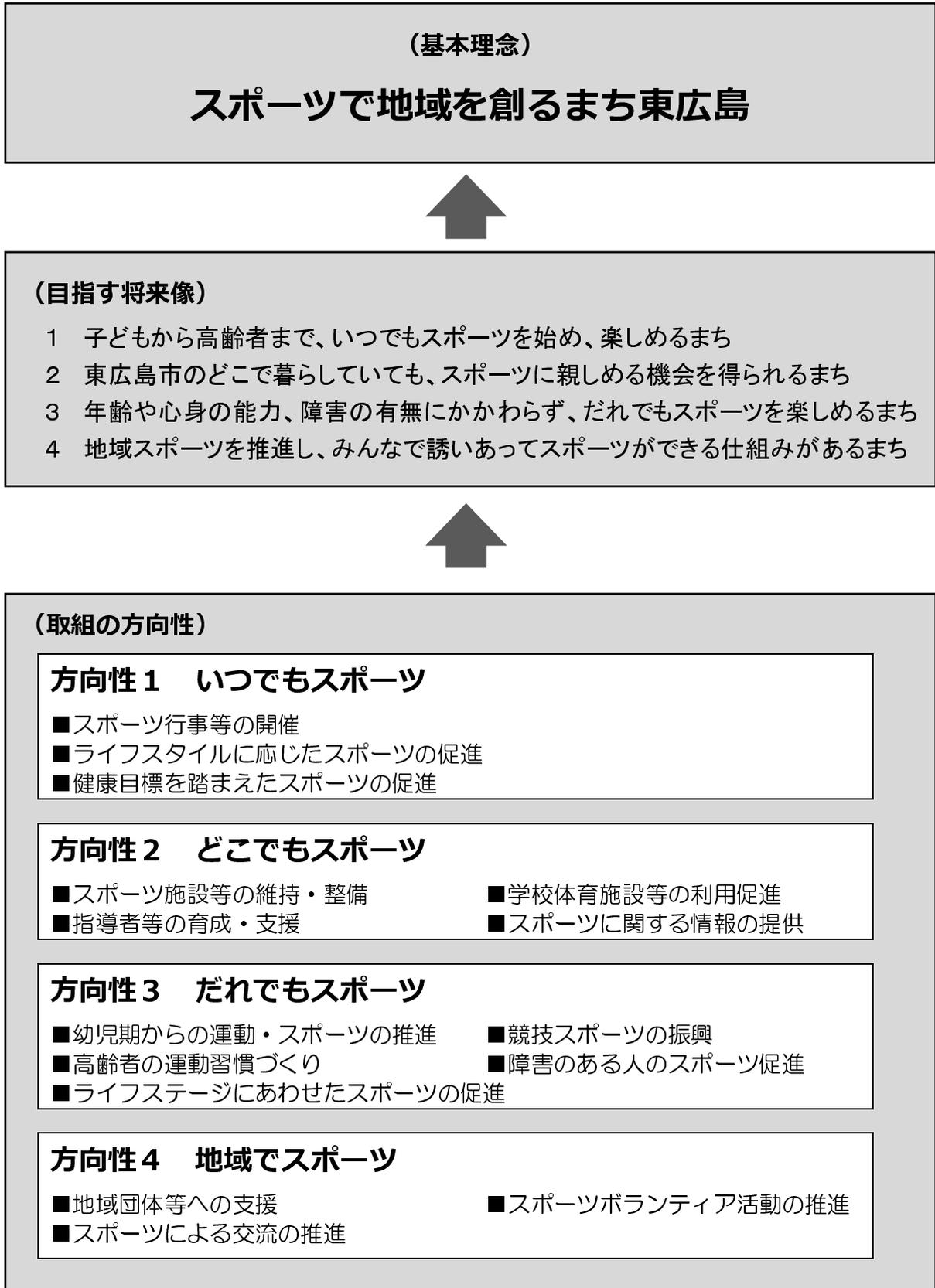
地域で行われているスポーツ活動について、広く市民に広報・啓発し参加を促していくとともに、団体と行政の連携や団体間の連携など協働の取組が行える仕組みづくりを目指します。

5 数値目標の設定

現行計画においては、目標指標が随所にみられますが、本計画においては、各方向性で出された目標指標について、一覧を掲載します。

これにより、目標意識の高揚を図るとともに、進捗評価の効率化を目指します。

6 施策の体系



第4章 施策の方向性

1 いつでもスポーツ

現状と課題

- ◎ 本市では、「さわやかウォーク」「サタデー！外で！遊ぼうDAY!」「生きがい健康体育大学」等、地域や関係機関と連携して“いつでも・どこでも・誰もが”楽しめるスポーツ行事の開催に取り組んでいます。一方で、参加者数が減少傾向にある行事も多く、参加者の視点に立ったイベント内容の工夫など、多くの市民参加を促せるイベント等の企画・実施が求められています。
- ◎ アンケートによると、運動・スポーツを週1回以上行っている人の割合が35.6%と約3人に1人とどまっています。スポーツをする主な時間は、平日・休日の昼間が多くなっていますが、早朝や夜間に行っている人も多く、ライフスタイルに合わせてスポーツを楽しめる環境づくりが求められています。
- ◎ アンケートによると、運動・スポーツをする目的として、「健康・体力づくりのため」が7割強で最も高くなっています。本市では、自主的な健康づくりの支援のための、運動指導とトレーニング機器の利用講習を行う「健康アップ！トレーニング教室」や健康増進・介護予防のための、健康チェックや運動指導を実施する「健康まめ講座」、ウォーキング等の講義と実技を行う「健康増進運動教室」など、健康づくりと絡めたスポーツ活動の場を提供しています。市民の一層の健康づくりの推進に向けても、運動・スポーツ活動の促進が重要です。
- ◎ メタボリックシンドロームや骨粗しょう症の予防など、健康づくりへの関心の高い市民が健康教室や運動教室に参加しています。しかしながら、健康に関心の低い市民においては参加が少なく、参加につなげられる仕組みづくりが必要です。

推進施策

- (1) スポーツ行事等の開催
- (2) ライフスタイルに応じたスポーツの促進
- (3) 健康目標を踏まえたスポーツの促進

数値目標

指標名	現状	目標値 (H38)
週1日以上スポーツや運動を行っている人 ※「スポーツ活動に関する市民アンケート調査」より(※18歳以上の市民)	35.6%	50%以上
市主催のスポーツイベント参加人数 ※東広島市調査	22,695人	25,000人以上

(1) スポーツ行事等の開催

市民参加型のスポーツイベントやスポーツ教室などの行事を積極的に開催するとともに、その広報・周知を広め、市民が身近にスポーツと触れ合い、楽しめる機会を創出します。

施策の展開

■各種スポーツイベントの実施

- ・「さわやかウォーク」「サタデー！外で！遊ぼうDAY！」など、普段からスポーツに参加できるイベントや「市民スポーツ大会」「新春駅伝競走大会」など、市民参加型の大型イベントなど、見て、参加して楽しめるスポーツ機会の充実を図ります。

■各種スポーツ教室の実施

- ・スポーツ推進委員をはじめとする、適切な指導員のもと関係機関と連携した出前講座や健康増進に関わる運動教室の開催により、普段から健康づくりと一体的にスポーツを行う仕組みづくりを推進します。

■スポーツイベント等の周知の徹底

- ・各種スポーツイベント及びスポーツ教室等を実施するにあたって、広報紙や市ホームページなどはもとより、さらに効果の高い情報発信媒体や発信方法について検討し、周知の徹底を図ります。

(2) ライフスタイルに応じたスポーツの促進

近年のライフスタイルの多様化を踏まえ、早朝や夜間など、時間帯による制限を極力受けずにスポーツを楽しむことができる機会の創出に取り組みます。

施策の展開

■ライフスタイルに応じた参加しやすいスポーツ機会の創出

- ・早朝や夜の時間を活用して運動したい人に向けた施設の開放やイベントの開催など、参加のしやすい機会の創出を図ります。

■特別な場所を必要としないスポーツの促進

- ・専用の施設や広い運動場などを必要せず、狭い場所でも気軽に行うことができるスポーツの促進を図ります。

(3) 健康目標を踏まえたスポーツの促進

生涯を通じて、生き生きと健康に暮らし続けるためには、適度な運動・スポーツが不可欠です。それぞれのレベルに応じて適切な目標を持ち、その目標に向かって意欲的に取り組むための支援を行うことでより一層健康的で、効果的なスポーツへの参加を促進します。

施策の展開

■各種健康づくり運動教室の実施
・健康増進に関連する様々な運動支援、運動教室などを実施し、適切な運動指導を行います。
■各種出前講座の実施
・関係機関等と連携し、健康や運動に関する出前講座を実施します。
■スポーツ医学・スポーツ科学を取り入れたトレーニングの促進
・身体能力をより高め、思い通りに動かせる体をつくるため、スポーツ医学や科学的な知識を取り入れたトレーニングができるよう支援するとともに、そうしたトレーニングを行う人が増えるよう取組を促進します。

2 どこでもスポーツ

現状と課題

- ◎ アンケートによると、スポーツ振興に関して重要と思うこととして、「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」が65.4%で最も高くなっています。現在、東広島市内には、東広島運動公園をはじめ、各地域に社会体育施設が立地しており、平成27年には新たに福富多目的グラウンドが、平成28年には志和市民グラウンドの供用が開始となりました。今後も、既存施設の修繕・改修による安全な施設の確保と有効活用に取り組むとともに、必要性和将来性を見据えた施設配置を検討することにより、身近な地域で利用できる公共施設の整備・充実を図ることが必要です。
- ◎ 学校施設の開放について、アンケートによると、学校施設を運動やスポーツに利用したことがある人は約2割程度であり、「知っていたが使ったことがない」が26.5%、「知らなかったので使ったことがない」が40.7%と高い割合を占めています。利用を増やすための配慮としては、「学校開放の制度やその内容について、市民に情報提供する」が58.5%、「利用手続きを簡単にし、気軽に使えるようにする」が45.7%となっており、学校に負担とならない範囲で、身近に利用できる施設としての機能を高めることが、“どこでも”スポーツを楽しめる環境整備の視点からも重要です。
- ◎ 運動・スポーツ活動の促進にあたっては、指導する人材の確保・養成も重要です。アンケートでは、運動指導士やスポーツの指導員に求めるものとして、「運動・スポーツを楽しく指導してくれる人」、「健康・体力づくり等の指導ができる人」、「仲間づくりなど面倒見がよい人」の順に割合が高くなっています。本市では、市内にある35の小学校区にそれぞれスポーツ推進委員が配置され、地域におけるスポーツの実技指導や各種スポーツ大会の運営補助等を行っています。スポーツ推進委員やスポーツ少年団、各種団体の指導者など、指導者ニーズに適った研修会を通じて、スポーツの普及に資する人材の養成に取り組む必要があります。
- ◎ 市内で実施されている各種イベントやスポーツ教室などに対して、情報が行き届いていない、またきっかけがないために参加につながらないケースも考えられます。スポーツに関する情報の入手先は「広報紙（広報東広島）」、「回覧板・パンフレット」の割合が高くなっており、これらの媒体を通じた情報発信に引き続き取り組むほか、報道機関へのプレスリリースの活用や地域のスポーツ団体、住民自治協議会等と協力しながら、スポーツ行事等の広報に取り組むことが大切です。

推進施策

- (1) スポーツ施設等の維持・整備
- (2) 学校体育施設等の利用促進
- (3) 指導者等の育成・支援
- (4) スポーツに関する情報の提供

数値目標

指標名	現状	目標値 (H38)
スポーツ施設利用者数 ※東広島市調査	294,828人	310,000人以上
学校体育施設開放事業の年間利用人数 ※東広島市調査	411,779人	430,000人以上

(1) スポーツ施設等の維持・整備

市民が身近に運動・スポーツに親しむことができ、競技スポーツの発展につながるよう、スポーツ施設の整備や利用しやすい魅力的な施設づくりに取り組みます。

施策の展開

■ 市内スポーツ施設の整備検討と修繕・更新
・新たなスポーツ施設の建設について、市民ニーズ等を把握しながら必要性の検討を行います。また、既存施設については、公園施設の長寿命化計画等に基づき、市民が安全に利用することができるよう、市内スポーツ施設の修繕・更新を行います。
■ 東広島運動公園の拡張整備
・スポーツ・レクリエーション活動の拠点である東広島運動公園の拡張整備を行います。
■ 施設の利用調整と有効活用
・競技団体が実施する大会にあたり、各施設の利用調整を行い、施設の有効活用を図ります。
■ 施設の予約・利用手続きがしやすい仕組みづくり
・各種社会体育施設等の利用促進に向け、施設の空き状況の紹介や予約がしやすい仕組みを検討・導入します。
■ 指定管理者制度の活用による施設の管理・運営
・施設の管理・運営にあたって、指定管理者制度を積極的に活用し、利用者ニーズにあったサービスの提供を図ります。

(2) 学校体育施設等の利用促進

学校教育活動に支障のない範囲で、小・中学校の体育施設を一般に開放し、暮らしに身近な施設で気軽にスポーツを楽しむよう取り組みます。

施策の展開

■学校体育施設の一般開放及び利用促進

- ・市立小・中学校体育施設等を開放し、身近に運動・スポーツ活動を行える場として利用を促進します。また、市民が利用しやすいよう管理・運営の向上を図ります。

(3) 指導者等の育成・支援

運動・スポーツ活動の普及に向けて、「スポーツを支える人材」の計画的な育成・支援に取り組みます。

施策の展開

■スポーツ推進委員の委嘱と研修会の開催

- ・スポーツの普及や実技指導、スポーツに関する指導や助言を行うスポーツ推進委員を委嘱するとともに、推進委員の資質向上に向けた研修会を開催します。

■関係団体との連携による指導者の育成

- ・スポーツ指導者の養成や資質の向上のため、市体育協会やスポーツ少年団、大学等の教育機関等と連携し、研修会の開催や指導者等の育成を図ります。

■指導者等の活躍の場づくり

- ・スポーツ指導者等が、地域で自らの能力を発揮できるよう、活躍の場づくりやきっかけづくりを行います。

■スポーツ事故の防止など、安全なスポーツ活動の推進

- ・スポーツ事故やスポーツの実施に伴う傷害等を防止するため、安全な実施に向けた情報提供や指導者等への研修、スポーツ施設の整備に取り組みます。

(4) スポーツに関する情報の提供

市民がスポーツに興味・関心を持ち、スポーツ活動に積極的に取り組むことができるよう、様々な媒体を活用した情報提供を行います。

施策の展開

■ 行事・イベントの参加につなげる効果的な情報発信

- ・市ホームページや広報紙にスポーツ施設やスポーツ教室、各種イベント情報を掲載するほか、スポーツ推進委員や地域の指導者、自主グループを通じた参加の呼びかけなど、効果的な情報発信を図ります。

■ 庁内関係課における情報共有と施策検討

- ・スポーツ及び健康づくりの促進に向けた効果的な施策立案やイベントの企画、情報発信を行うため、関係各課と連携した情報共有の場、アイデアの検討機会を設けます。

3 だれでもスポーツ

現状と課題

<幼児期（3～6歳ごろ）及び児童・生徒期（6～18歳）>

- ◎ 生涯にわたり豊かなスポーツ活動の基礎を培っていくうえで、子どもの頃から体を動かすことの楽しさを発見し、進んで体を動かす習慣が定着していくことが重要です。親子で運動・スポーツを楽しめる環境づくりや幼稚園・保育所等との連携による習慣づくりが大切です。
- ◎ 児童・生徒の体力づくりやスポーツに親しめる環境整備として、「体力向上応援プロジェクト」による運動プログラムの開発や、「東広島市小学校水泳記録会・陸上記録会」の開催を通じた運動・スポーツの意識向上や他校との交流促進、指導者の指導力向上が進められています。また、平成25年度より各学校において体力づくり改善計画に基づいた計画的・継続的な取組を実施しています。
- ◎ こうした取組により、広島県児童生徒の体力・運動能力調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、本市の小・中学校ともに全国平均を大きく上回る結果となっています。

<成人期（18歳～65歳ごろ）及び高齢期（65歳～）>

- ◎ アンケートによると、小・中学生時で約6割が部活等で運動・スポーツを行っているものの、それ以降は減少しています。運動・スポーツを行っていない理由として、「仕事や家事・育児等で忙しい」、「きっかけ・機会がないから」などが主な理由に挙がっており、特に20代～50代の働き盛り世代ではスポーツに時間を割けていない状況がみられます。
- ◎ 一方で、運動・スポーツを行っている人は1年以上継続して行っている人が多いことや、今後の運動頻度を多くしたいと考える人が多い傾向もみられるため、運動・スポーツにふれられる機会を充実することで、スポーツ活動の活性化につながることを期待できます。
- ◎ 高齢期では加齢に伴う身体能力の低下や移動手段が確保できないなどの理由により、運動・スポーツ活動に参加しづらい課題があるため、身近な日常生活の中で運動・スポーツに関われる環境づくりが求められます。

<競技スポーツ>

- ◎ オリンピックや国民体育大会などの競技スポーツにおける地元選手の活躍は、多くの市民に喜びや地域への誇りと自信をもたらし、スポーツに対する関心や意欲の高揚等に繋がることが期待されます。将来を担うトップアスリートを育成していくため、長期的な展望に立った人材発掘と指導体制の強化に取り組んでいくことが必要です。

<障害者スポーツ>

- ◎ 障害のある人がスポーツ活動に参加することは、その人自身の健康の維持・増進だけでなく、地域の障害のある人への理解促進にも大きく貢献する役割を担っています。そのため、障害者スポーツの普及と、その指導者やボランティアなどの人材確保を進めていくことが必要です。

推進施策

- (1) 幼児期からの運動・スポーツの推進
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) 高齢者の運動習慣づくり
- (4) 障害のある人のスポーツ促進
- (5) ライフステージにあわせたスポーツの促進

数値目標

指標名		現状	目標値 (H38)
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 体力合計点の全国トップ県との比較	小学校第5学年（男子）	+1.53ポイント	+0.40ポイント以上
	小学校第5学年（女子）	+0.73ポイント	+0.40ポイント以上
	中学校第2学年（男子）	+2.13ポイント	+2.40ポイント以上
	中学校第2学年（女子）	+2.03ポイント	+2.00ポイント以上

(1) 幼児期からの運動・スポーツの推進

児童・生徒の体力向上や運動部活動の活発化を目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、主体的に外遊びやスポーツを親しむ子どもの育成を推進します。

施策の展開

<p>■運動・スポーツの機会の提供</p> <p>・保・幼・小や小・中での連携、家庭や地域並びに関係団体（体育振興会・体育協会・スポーツ推進委員協議会・スポーツボランティア）との連携を通じて、児童・生徒の運動・スポーツの場を積極的かつ継続的に作っていきます。</p>
<p>■児童・生徒の運動習慣の定着</p> <p>・保健体育等の授業をはじめ、特別活動、総合的な学習の時間、運動部活動の時間等、学校教育活動全体で運動好きな児童・生徒の育成を図っていきます。</p>
<p>■基本的な生活習慣の確立に向けた啓発</p> <p>・子どもの健やかな成長を促す適切な「運動」、「食事」、「休養」の基本的な生活習慣の定着に向けた啓発活動を家庭や地域、学校と連携して行うなかで運動習慣の定着に取り組みます。</p>
<p>■指導力向上に向けた指導体制の充実</p> <p>・子どもの発達や成長に応じた遊びや運動・スポーツ指導ができるよう、幼・小・中学校の指導者の指導力向上や外部指導者（地域のスポーツ指導者）の活用推進に取り組みます。</p>

<p>■体力づくり改善計画の作成指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校における体力テストの結果や児童生徒の実態を踏まえた体力向上の計画の実践ができるよう、体力づくり改善計画の指導・助言を行います。
<p>■スポーツ活動・運動部活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツの楽しさや喜びを味わい、体力の向上や健康の増進を図るため、小学生体育連盟、中学校体育連盟が主催する体育大会などの活動を支援し、スポーツ活動・運動部活動の活性化を図ります。
<p>■スポーツに興味・関心をもたせるための取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> トップアスリートのほか、地域の指導者や競技経験者を学校に派遣し、児童・生徒が直接話を聞いたり、実技指導を受けたりできるような事業を開催します。

(2) 競技スポーツの振興

競技スポーツ人口の拡大や、競技力の維持・向上に向けた仕組みづくりを推進します。

施策の展開

<p>■競技人口の拡大に向けた事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技を継続して行うことができる受け皿の確保や、トップアスリートとの交流の機会を設けるなど競技スポーツへの関心を高め、競技スポーツに取り組む人口の拡大を図ります。
<p>■トップアスリートへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会等へ出場するトップアスリートに対し、必要な支援等を行います。

(3) 高齢者の運動習慣づくり

高齢者が無理なく日常的に取り組むことができ、健康維持につながる軽運動・スポーツ活動の実施と参加促進に取り組めます。

施策の展開

<p>■軽運動・スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 体操、ウォーキング、軽スポーツなどを継続的に実践できるよう、ウォーキング大会等の地域行事の周知・参加促進を図ります。
<p>■通いの場・生きがい活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民運営の通いの場（介護予防に取り組む通いの場）、高齢者のボランティアやサークルなどの地域活動への参加促進を図り、日常的な健康づくりと生きがいづくりを進めます。
<p>■健康づくりに関する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病やロコモティブシンドローム予防のための運動習慣の必要性について啓発し、健康づくりとしての運動の意識づくりを図ります。

(4) 障害のある人のスポーツ促進

障害のある人の障害の種類や程度に応じた配慮をした運動・スポーツのプログラムや設備の充実を図り、自主的かつ積極的な運動・スポーツへの参加を促進します。

施策の展開

■障害者スポーツの周知・啓発
・障害者スポーツの活動内容や障害者スポーツ団体の実施するスポーツイベントなどの周知、障害者スポーツを体験できる機会の創出を図ります。
■障害者スポーツ教室の充実
・障害者スポーツを実施する団体等と連携しながら、障害の有無に関わらずともに障害者スポーツを体験し交流することができる教室の充実に努めます。
■障害者スポーツの設備の確保
・障害のある人でも気軽に利用できるような環境づくりを推進します。
■スポーツを通じた交流の推進
・障害の有無に関わらず一緒に楽しめるスポーツの普及・促進を図るとともに、スポーツを通じた交流機会の創出を図ります。
■障害者スポーツ大会への参加支援
・広島県障害者スポーツ協会等が実施する障害者スポーツ大会等の周知と参加支援を図ります。

(5) ライフステージにあわせたスポーツの促進

幼児期から高齢期までさまざまな年代で体力の維持・向上に取り組める運動・スポーツ活動の普及に取り組めます。

施策の展開

■各種スポーツ団体の育成
・体育協会を中心に、競技スポーツと生涯スポーツの推進をより積極的に行うとともに、市内の研究機関である大学等と連携を密にし、いつでも・だれもが・いつまでもスポーツに携われるスポーツ振興を行っていきます。
■ライフステージに応じた運動・スポーツの機会づくり
・働き盛り世代にはライフスタイルに応じたスポーツ活動の機会づくり、高齢者では生きがいや健康づくりの視点を踏まえた軽運動・スポーツの普及など、ライフステージに応じた運動・スポーツを実践できる環境づくりを推進します。
■健康づくり活動の推進
・地域の集いの場で週1回取り組む介護予防に効果のある体操（いきいき百歳体操等）、ラジオ体操やいきいき体操ひがしひろしま、ウォーキングなど誰もが日常生活の中で実践できる健康づくり活動の普及啓発に取り組めます。

4 地域でスポーツ

現状と課題

- ◎ アンケートによると、1年間市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがない人が8割以上を占めており、そのうち約半数は参加しなかった理由として「知らなかった」と回答しています。情報を得ている媒体として、広報紙が大半を占めているものの、情報提供の機会や手法は十分でないことが懸念されます。スポーツ推進委員や体育協会などのスポーツ団体と連携を図りながら、情報の提供や地域におけるスポーツ活動に参加しやすいきっかけづくりに引き続き取り組む必要があります。
- ◎ 地域のクラブやグループへ参加する場合に重要なこととして、アンケートでは、「身近な場所で行われること」、「安い参加費であること」、「参加しやすい日時であること」が重視されています。身近で行われているスポーツ活動団体の周知を進めるとともに、参加しやすい仕組みの検討が必要です。
- ◎ 子どもたちがスポーツを通じて地域と関われる機会として、本市では「サタデー！外で！遊ぼうDAY！」を実施し、地域のスポーツボランティア等が指導を担当しています。一方で活動数は減少傾向にあり、地域住民が主体となった同様の取組が実施されていることもあることから、今後は学校や地域と連携し、ボランティアの現状やニーズを把握しながら活動内容等を検討していく必要があります。
- ◎ 体育協会について、加盟団体に対しては活動に係る助成金の交付等により、特色ある活動や活動内容の充実が図られています。一方で、体育協会としての活動が行われていないことや大学等との連携が図られていないこともあり、今後体育協会としての事業展開について検討していく必要があります。

推進施策

- (1) 地域団体等への支援
- (2) スポーツボランティア活動の推進
- (3) スポーツによる交流の推進

数値目標

指標名	現状	目標値 (H38)
1年間に市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがある人の割合 ※「スポーツ活動に関する市民アンケート調査」より	14.0%	25.0%以上
東広島市スポーツ少年団指導者・団員数 ※東広島市調査	1,745人	1,850人以上
総合型地域スポーツクラブ設置数 ※東広島市調査	1箇所	2箇所以上

(1) 地域団体等への支援

地域では様々なスポーツ活動が展開されており、身近な場所でスポーツに参加できる機会や場が増えつつあります。今後も地域で活動する団体等への支援を行い、地域におけるスポーツの活性化を図ります。

また、総合型スポーツクラブに関する地域での認知度を高めるため、情報提供を行うとともに、クラブ設立に向けた支援を行います。

施策の展開

■地域でスポーツについて学べる場の提供
・市民がスポーツに関して知りたい情報が得られるよう出前講座やスポーツ講習会等を通じて、スポーツについて学べる場を提供します。
■関係団体と連携した地域スポーツの推進
・体育協会やスポーツ推進委員をはじめ、関係団体と連携しスポーツ活動を推進していきます。
■体育協会等への支援
・本市のスポーツ振興を統括する団体である体育協会等に対し、助成金を交付し活動の推進を図ります。
■各種団体における講演会等の情報提供
・各種団体等が実施するスポーツに係る講演会の情報を提供し、地域におけるスポーツの普及を図ります。

(2) スポーツボランティア活動の推進

地域におけるスポーツ活動の活性化を目指し、スポーツボランティアなど地域のスポーツ活動を担うボランティアの育成・支援を進めます。

施策の展開

■スポーツボランティアに関する情報提供とボランティアの育成
・スポーツボランティア登録制度や活動内容について、広報紙やホームページ等各種広報媒体により情報を発信し、市民に情報を提供します。また、各種研修会の情報提供や参加に向けた啓発に努め、スポーツボランティアを育成します。
■スポーツボランティア活動の場の提供
・スポーツボランティアが地域で実施されているスポーツ活動等に参加し、「支える」スポーツの推進が図れるよう、地域で活動できる場を提供します。

(3) スポーツによる交流の推進

スポーツを通じて地域への愛着や一体感の醸成が図れるようスポーツによる交流・連携を進めます。また、2020年に開催となる東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成や、スポーツと観光が連携したスポーツツーリズムに取り組みます。

施策の展開

■スポーツを通じた地域交流
・スポーツを通じた地域交流や仲間づくりなどができるよう誰もが参加しやすいイベントの開催や、身近な地域にある各種施設の開放などを検討し、地域住民が交流しやすい環境づくりを進めます。
■オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致の推進
・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、キャンプ地の誘致を推進します。
■ニュースポーツの普及・振興
・子どもから高齢者まで気軽に楽しめるニュースポーツの普及・振興を図り、運動と世代間交流の機会づくりを進めます。
■スポーツツーリズムの促進
・スポーツを通じた交流人口の拡大を図るため、スポーツツーリズムを促進します。

第5章 推進体制の整備

1 進捗管理

本計画の目標年度は平成38年度としていますが、実効的な事業展開を見据えて、定期的な評価・見直しを施策毎の指標に基づき行います。進捗管理は「東広島市スポーツ推進審議会」が主体として行うほか、定期的な意識調査による市民のスポーツ活動に関する実態やニーズについても考慮します。

なお、指標達成のために必要があると認められる場合には、「東広島市スポーツ推進審議会」の検討を経て、施策内容の充実を図ります。

2 庁内の連携体制

本計画における、スポーツ振興に関する各種施策は、主幹課、関係課を含め、分野が多岐に及ぶことから、本市教育委員会を中心として、関係各課と連携しながら、円滑で実効的な施策実施に努めます。

3 関係団体、広域的な連携体制の整備

本計画の推進主体は行政としていますが、スポーツ活動自体を実践していくのは市民を中心とした、家庭、地域、学校、関係機関・団体等です。そのため各主体が行政との連携・協働による積極的な計画の周知・実践を進めていくことが重要です。

また、必要に応じて、市内外を問わず、様々な関係機関・団体と連携し、健康的で充実したスポーツ活動の促進に努めます。

資料編

目標指標一覧

1 いつでもスポーツ

指標名	現状	目標値 (H38)
週1日以上スポーツや運動を行っている人 ※「スポーツ活動に関する市民アンケート調査」より (※18歳以上の市民)	35.6%	50%以上
市主催のスポーツイベント参加人数 ※東広島市調査	22,695人	25,000人以上

2 どこでもスポーツ

指標名	現状	目標値 (H38)
スポーツ施設利用者数 ※東広島市調査	294,828人	310,000人以上
学校体育施設開放事業の年間利用人数 ※東広島市調査	411,779人	430,000人以上

3 だれでもスポーツ

指標名	現状	目標値 (H38)	
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 体力合計点の全国トップ県との比較	小学校第5学年(男子)	+1.53ポイント	+0.40ポイント以上
	小学校第5学年(女子)	+0.73ポイント	+0.40ポイント以上
	中学校第2学年(男子)	+2.13ポイント	+2.40ポイント以上
	中学校第2学年(女子)	+2.03ポイント	+2.00ポイント以上

4 地域でスポーツ

指標名	現状	目標値 (H38)
1年間に市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがある人の割合 ※「スポーツ活動に関する市民アンケート調査」より	14.0%	25.0%以上
東広島市スポーツ少年団指導者・団員数 ※東広島市調査	1,745人	1,850人以上
総合型地域スポーツクラブ設置数 ※東広島市調査	1箇所	2箇所以上

用語説明

スポーツ・レクリエーション	平成23年に制定された「スポーツ基本法」に取り入れられた、スポーツを通じて行うレクリエーション活動。 「スポレク」と略称で呼ばれる事も多い。 「スポーツ」の本来の意味である「娯楽、楽しみ、癒し」に着目し、休養・娯楽のための運動、競技活動を行う。 参加者のストレス解消、健康増進、協調性ややる気の充実を目的とする。
スポーツツーリズム	平成23年6月に取りまとめられた「スポーツツーリズム推進基本方針」を踏まえ、スポーツと旅行を意図的に融合させることにより、目的地へ旅する明確な理由を作り出し、新しい価値・感動とともに新たなビジネス・環境を創出するもの。 スポーツを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、地域の多種多様な地域観光資源を顕在化させ、訪日旅行・国内観光の活性化を目指している。
スポーツボランティア	2007年の東京マラソンを契機に広く社会に広まったボランティアのひとつ。 スポーツクラブや団体の指導や運営、スポーツ大会やイベントの開催支援、プロ競技者による指導や社会貢献活動なども含まれる。専門性の高い「専門ボランティア」から、特別な技術や知識を必要とせず誰もが参加できる「一般ボランティア」まで、幅広い活動の場がある。
スポーツ医学・スポーツ科学	競技スポーツ選手の身体能力の強化、好成績を出すため身体の使い方、故障の予防、治療などを取り扱う、総合的な専門分野。体育学のみならず、教育学、医学、社会学、心理学、統計学、生化学、栄養学などを総合してスポーツに関するすべてを科学として研究することで、各種スポーツのトレーニング法や器具を開発し、記録を向上させることを目的としている。
トップアスリート	各種のスポーツ競技会や大会の参加選手、プロ競技選手などをアスリートといい、その中でも優秀な成績を収めた選手をトップアスリートと呼称する。

メタリックシンドローム

内臓脂肪症候群。内臓の周囲に脂肪が蓄積する内臓脂肪蓄積型の肥満をもつ人が、高血圧、高血糖、高脂血症といった動脈硬化危険因子を2つ以上合わせもった疾患。喫煙によりさらに危険が高まる。40歳から74歳の人については、毎年の特健診による診断、及び必要な人への保健指導が求められている。

生活習慣病に起因する、循環器系疾患等の死亡リスクの高い症状を起こしやすい状態であることから、早期の改善が求められる。

ライフステージ

人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。

市民アンケート結果

調査方法（再掲）

調査対象者	東広島市にお住まいの18歳以上の方から無作為抽出		
調査数	2,000名		
調査方法	郵送による配布・回収		
調査票回収数	879件	回収率	44.0%

調査集計にあたっての留意事項

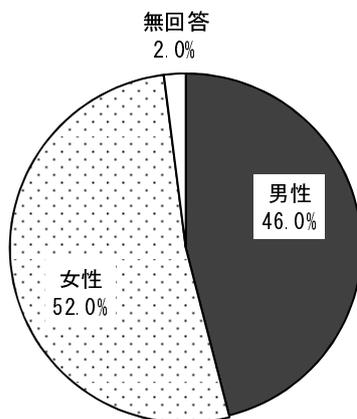
- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」は、それぞれ
 - 「N」 = 有効標本数（サンプル数）のこと
 - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answerの略）
 - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answerの略）を示します。

調査結果

あなたご自身についてお尋ねします

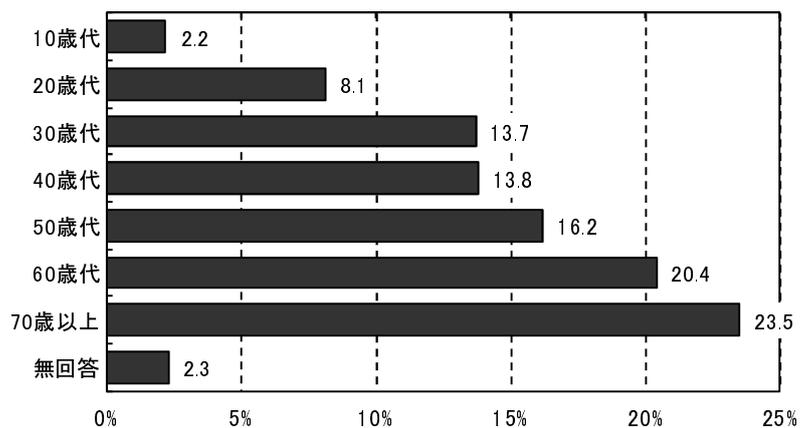
問1 あなたの性別、年齢
[性別]

(SA) N=879



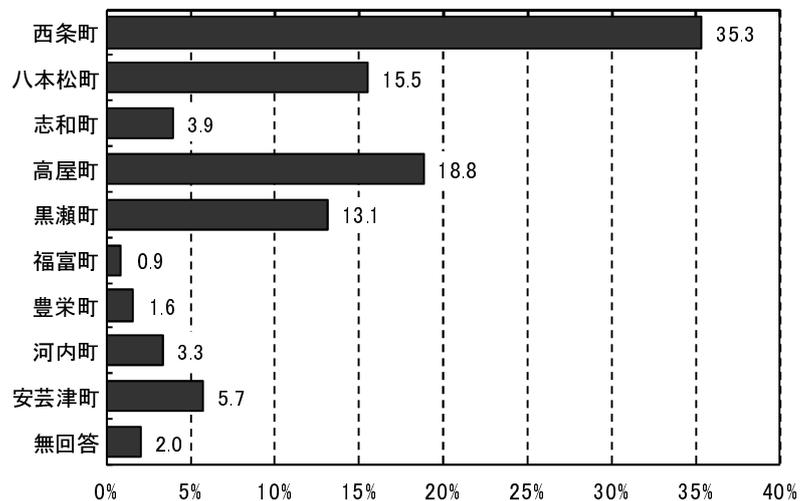
[年齢]

(SA) N=879



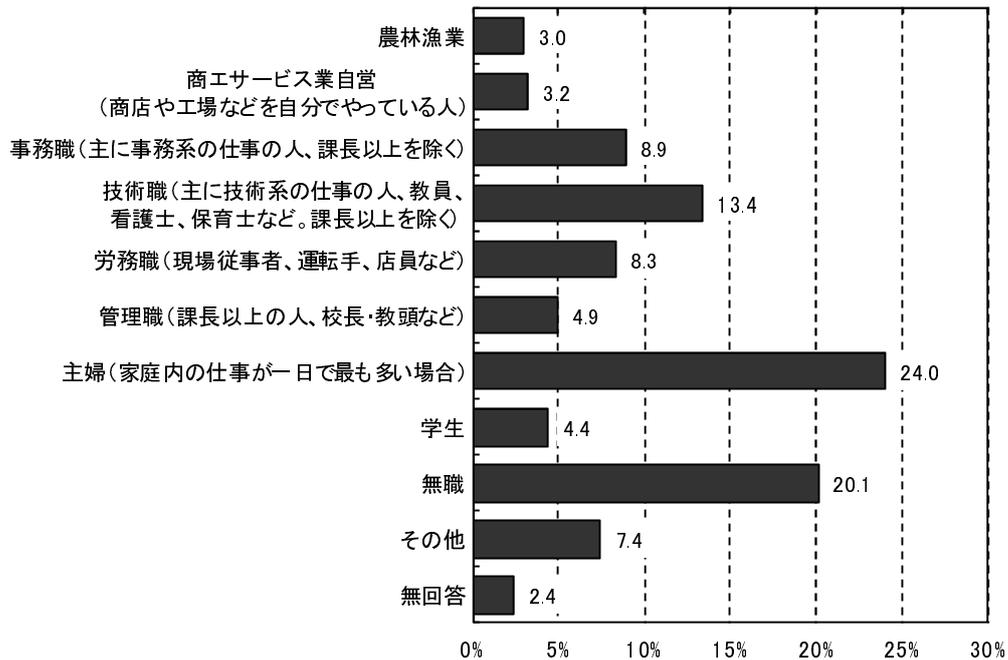
問2 お住まいの地域はどちらですか。

(SA) N=879



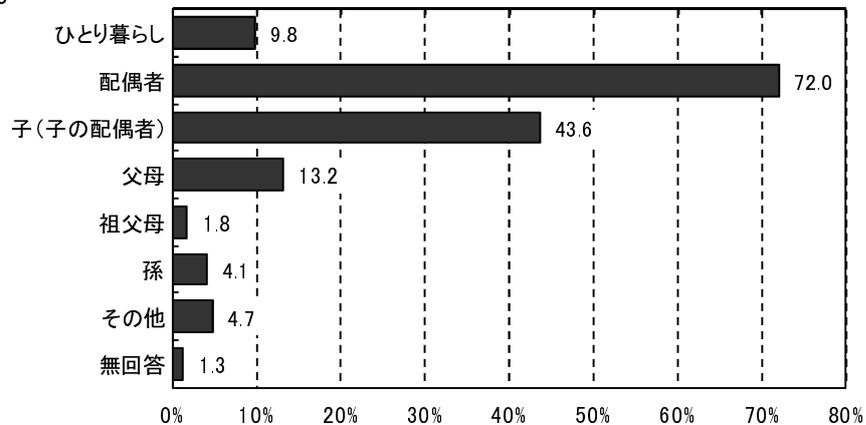
問3 あなたの職業はどれですか。

(SA) N=879



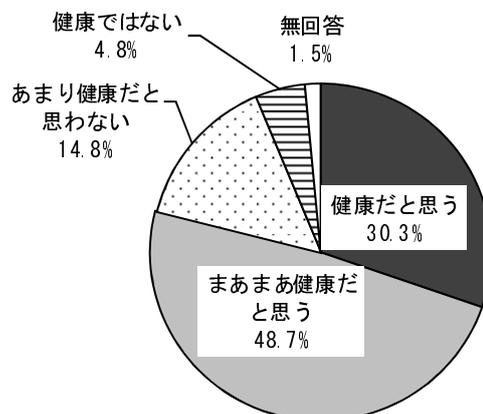
問4 一緒に暮らしている人はいますか。(複数回答可)

(MA) N=879

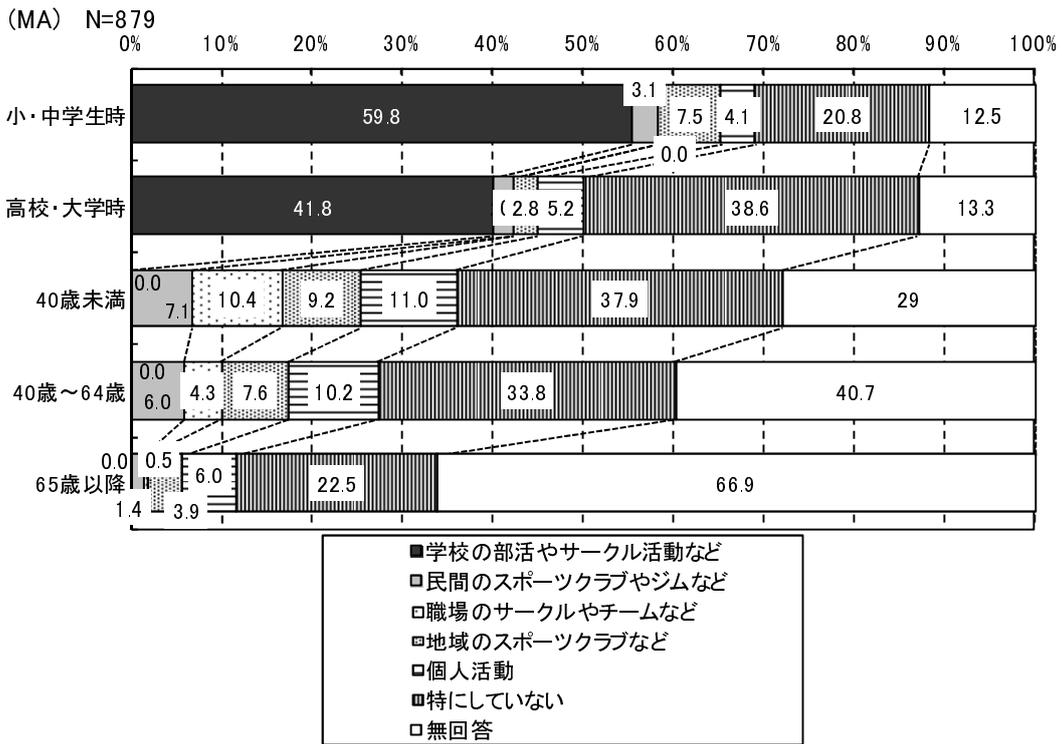


問5 あなたは現在、自分のことを健康だと思いますか。

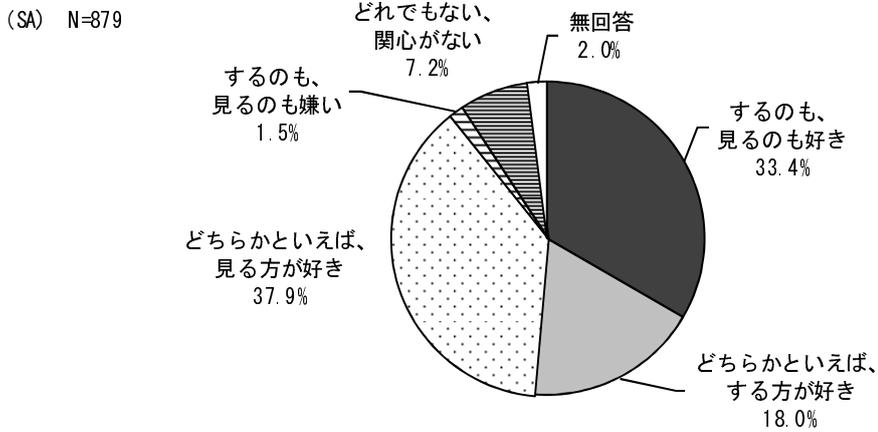
(SA) N=879



問6 あなたのこれまでの運動・スポーツ歴についてお尋ねします。
 次の世代の時期に運動やスポーツを行っていましたか。(複数回答可)

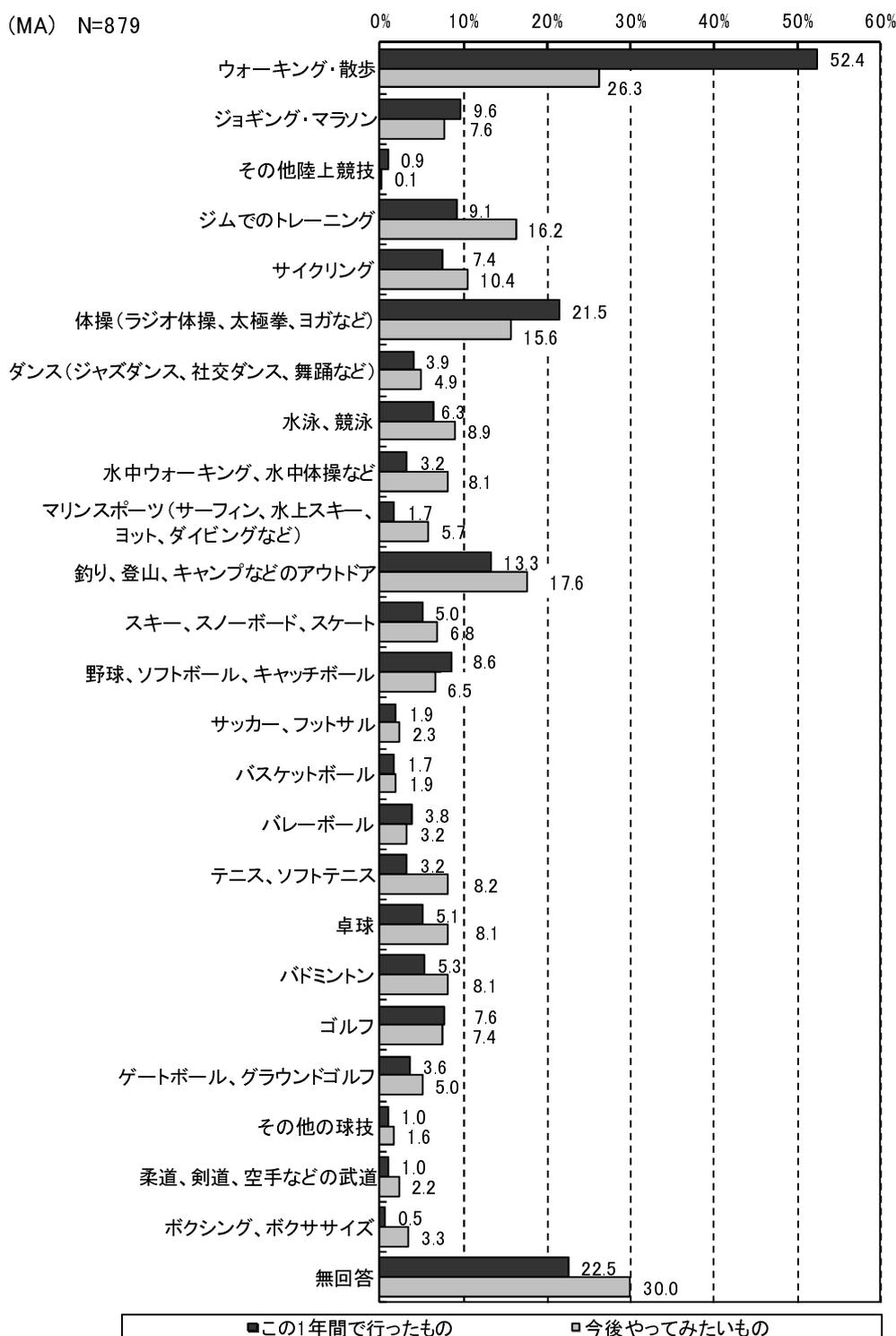


問7 あなたは運動やスポーツが好きですか。



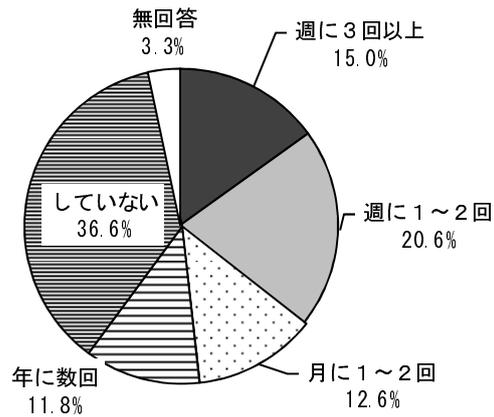
問8 次の運動・スポーツの中で、あなたがこの1年間で行ったもの、今後やってみたいものをお答えください。
(複数回答可)

(MA) N=879



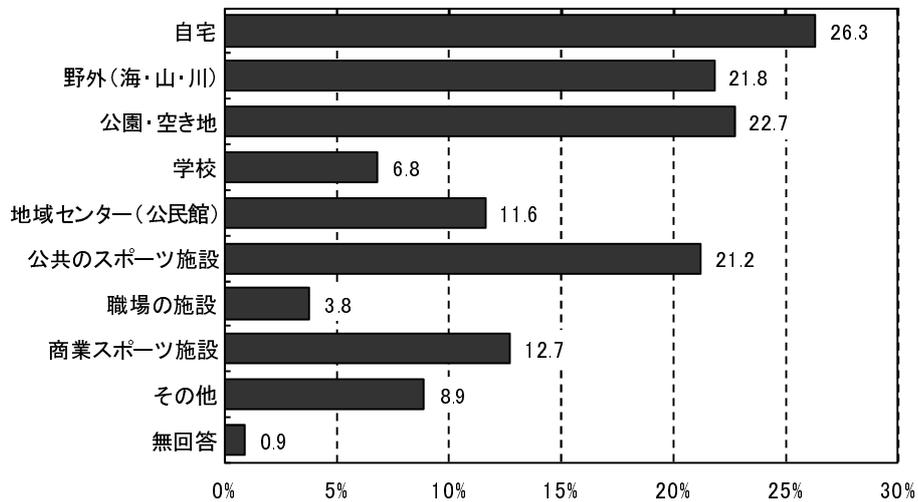
問9 あなたが運動・スポーツを行う頻度はどのくらいですか。

(SA) N=879



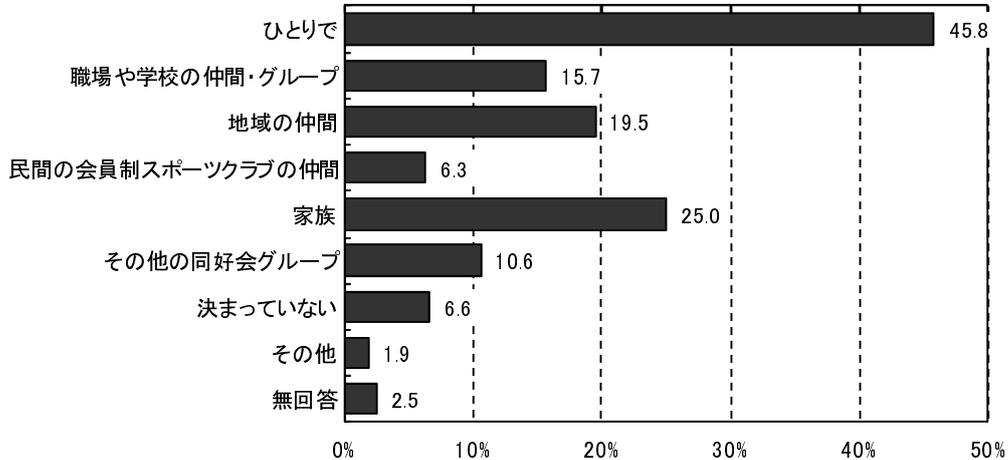
問10 問9で「週に3回以上」「週に1~2回」「月に1~2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。あなたが運動やスポーツを行っている場所はどこですか。(複数回答可)

(MA) N=528



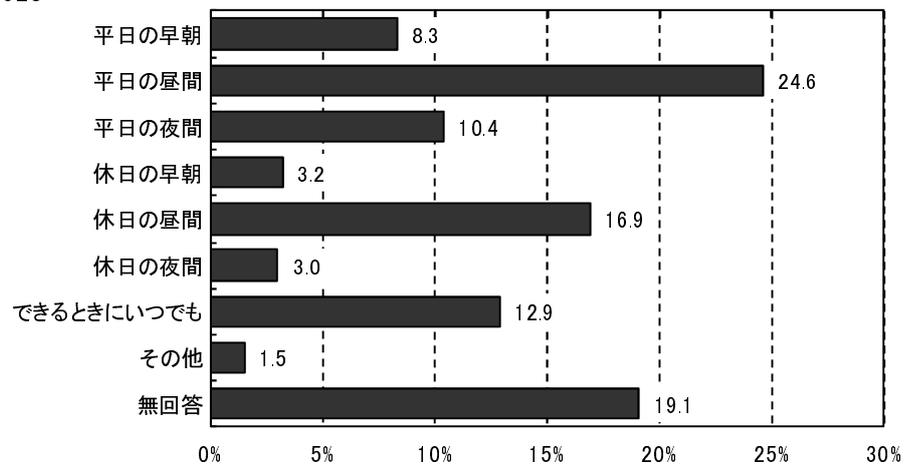
問11 問9で「週に3回以上」「週に1~2回」「月に1~2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。あなたが運動・スポーツをするとき、主に誰としていますか。(複数回答可)

(MA) N=528



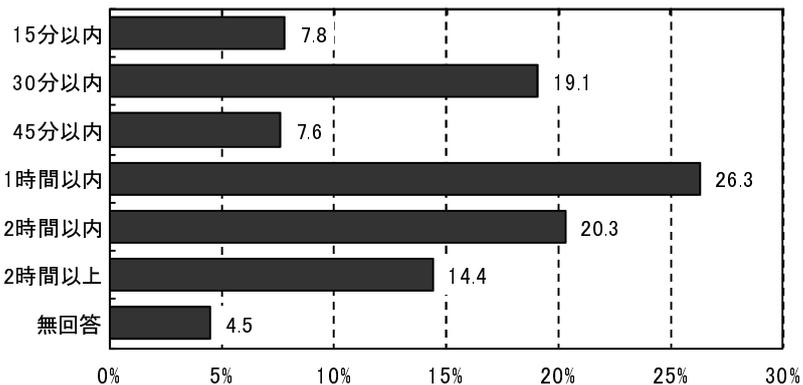
問12 問9で「週に3回以上」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。
あなたが運動・スポーツをする主な時間はいつですか。

(SA) N=528



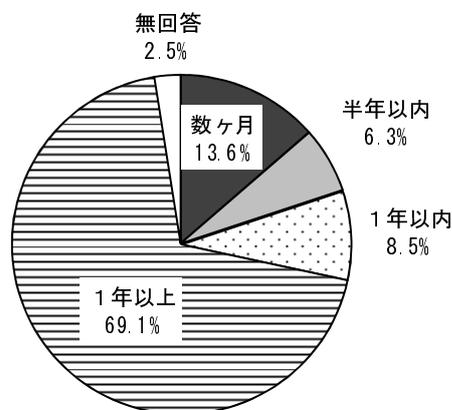
問13 問9で「週に3回以上」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。
あなたが1日に運動・スポーツをする時間はどのくらいですか。

(SA) N=528



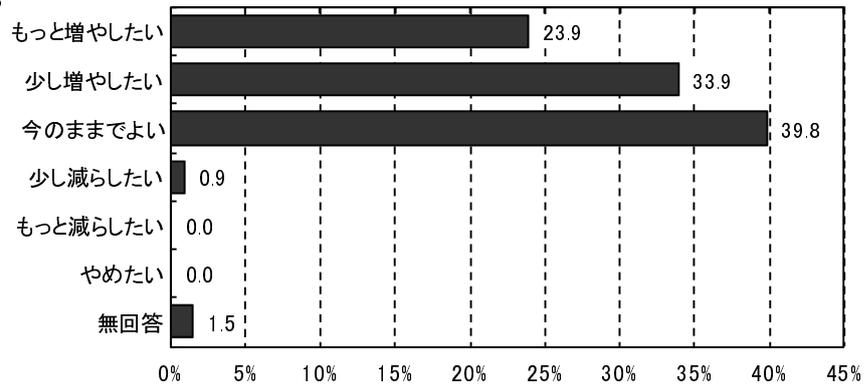
問14 問9で「週に3回以上」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。
今の運動・スポーツをどのくらい続けていますか。

(SA) N=528



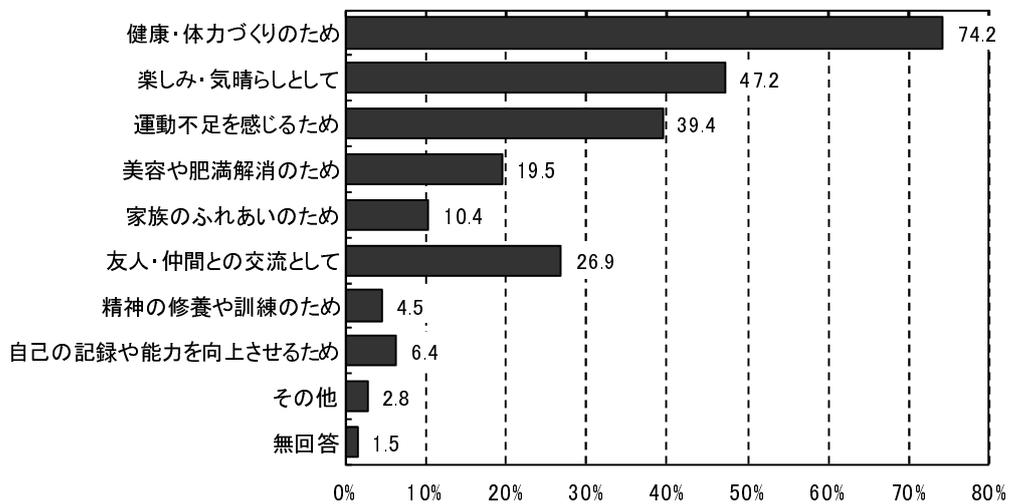
問15 問9で「週に3回以上」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。
あなたは、運動・スポーツをする機会を増やしたいですか。

(SA) N=528



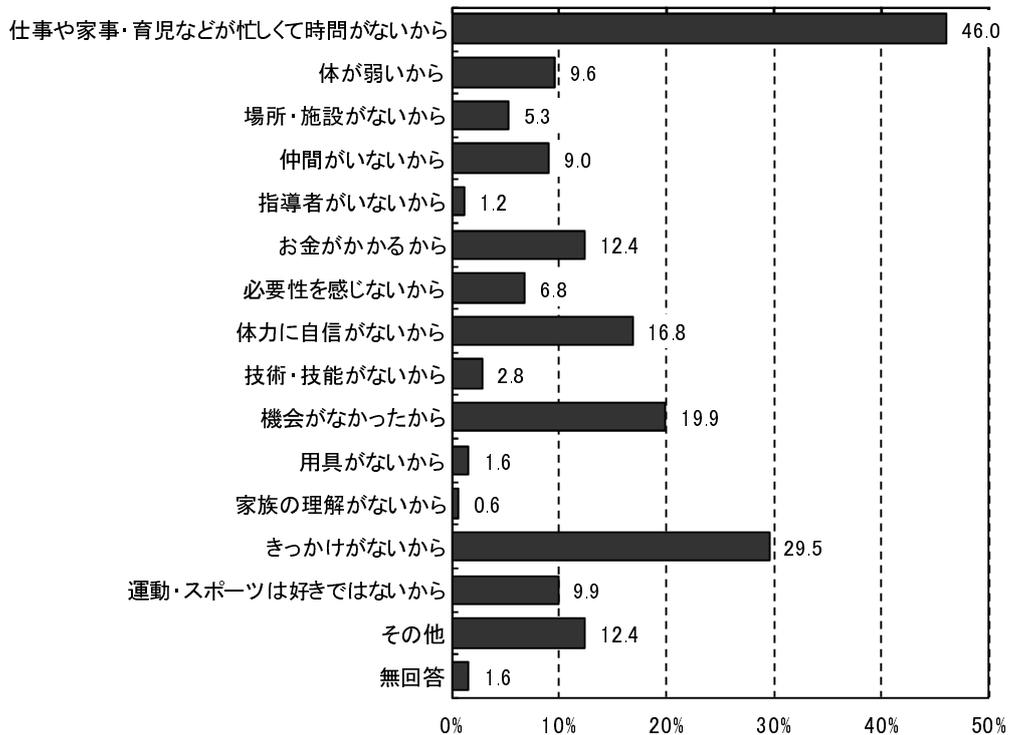
問16 問9で「週に3回以上」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回」に○をつけた方にお尋ねします。
あなたは、何の目的で運動・スポーツをしていますか。(複数回答可)

(MA) N=528



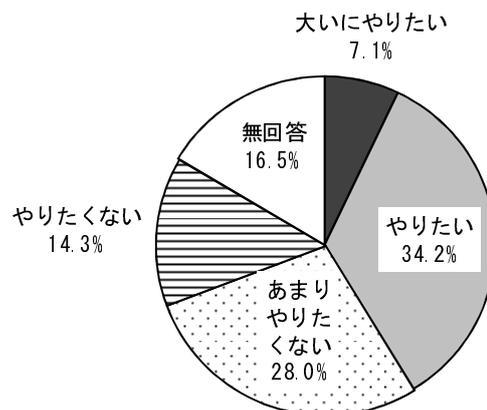
問17 問9で「していない」に○をつけた方にお尋ねします。
運動・スポーツをしない理由は何ですか。(複数回答可)

(MA) N=322



問18 問9で「していない」に○をつけた方にお尋ねします。
今後、運動・スポーツを始めたいと思いますか。

(SA) N=322



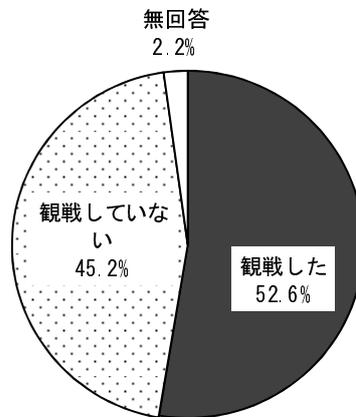
問19 問18で「大いにやりたい」または「やりたい」に○をつけた方にお尋ねします。
始めてみたい運動・スポーツなどがあればお書きください。

内容	回答数
ウォーキング	24
ヨガ	16
水泳	13
バドミントン	11
テニス	9

スポーツ観戦について

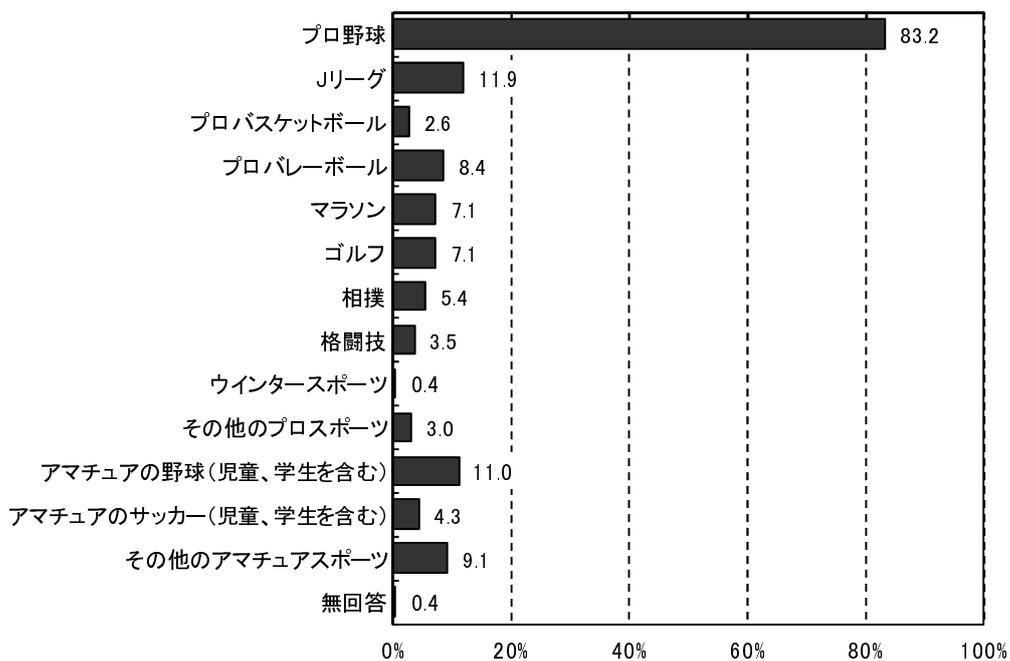
問20 あなたはこの1年で直接スポーツを観戦しましたか。
(テレビ、ラジオ、インターネットは含みません)

(SA) N=879



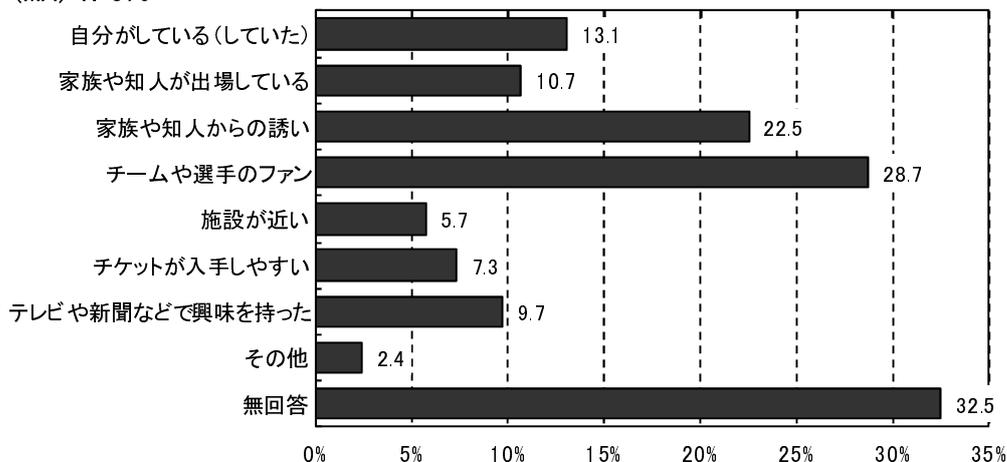
問21 問20で「観戦した」に○をつけた方にお尋ねします。
それはどんな競技や試合ですか。(複数回答可)

(MA) N=463



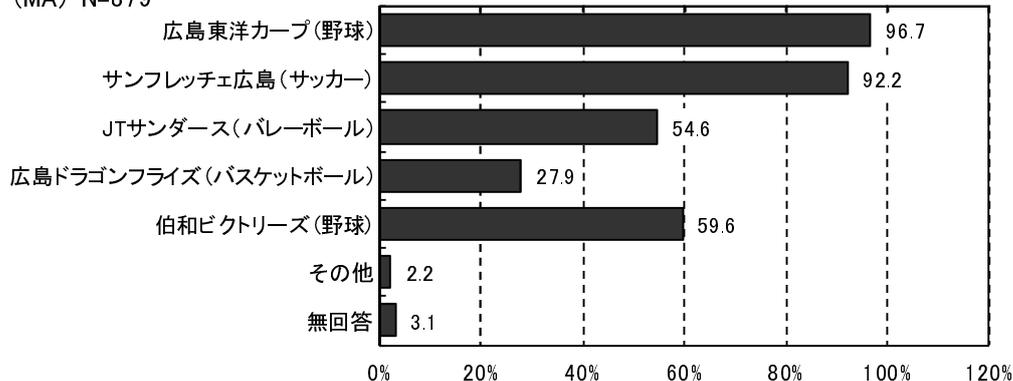
問22 スポーツ観戦を始めた(行った)理由は何ですか。また、どんな理由があれば観たいと思いますか。(複数回答可)

(MA) N=879



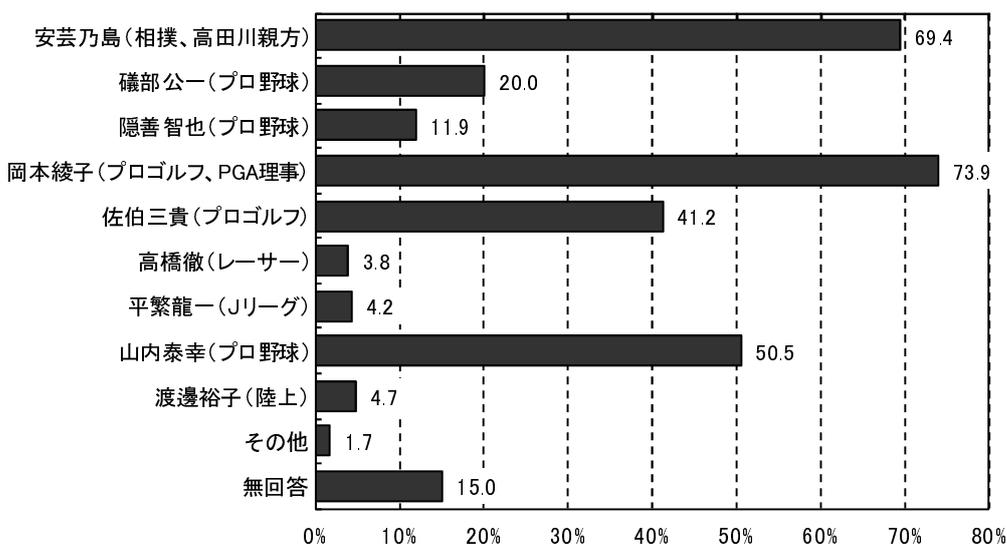
問23 広島県内のスポーツチームで知っているものをお答えください。(複数回答可)

(MA) N=879



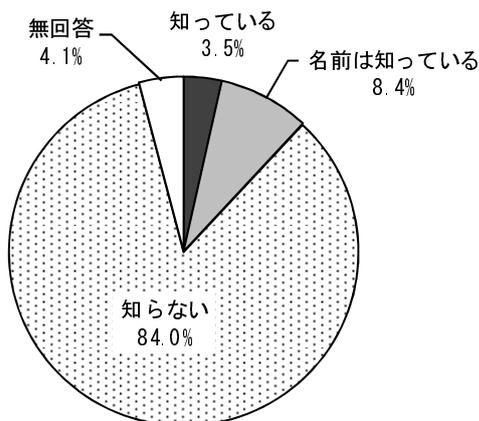
問24 東広島市出身のスポーツ選手で、知っている人をお答えください。(複数回答可)

(MA) N=879



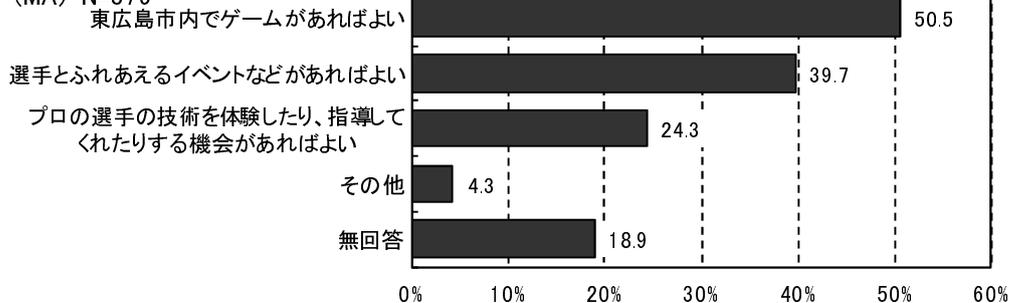
問25 広島県で活躍するスポーツクラブなどで作る「トップスひろしま(NPO広島トップスポーツクラブネットワーク)」について知っていますか。

(SA) N=879



問26 プロスポーツとの交流についてどう思いますか。(複数回答可)

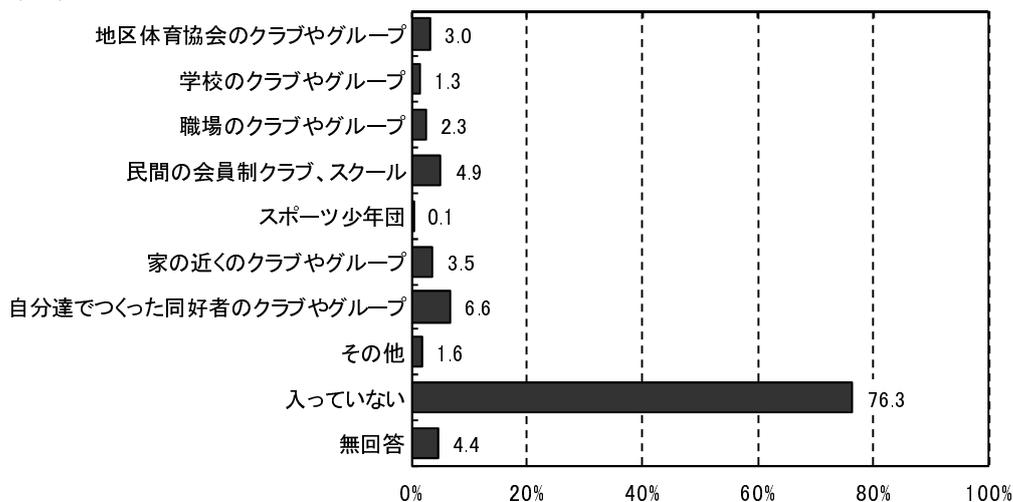
(MA) N=879



地域スポーツについて

問27 あなたは、現在、運動・スポーツのクラブやグループに入っていますか。(複数回答可)

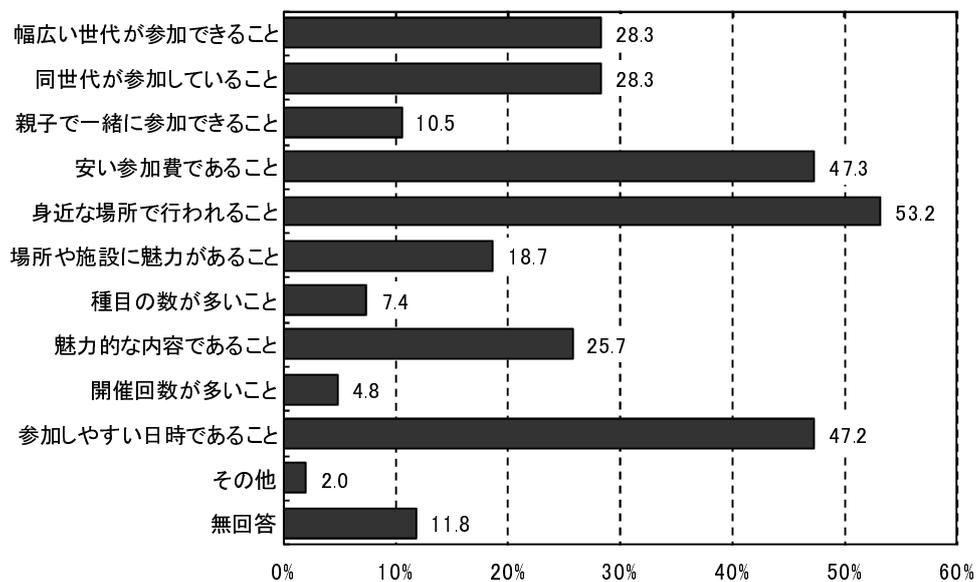
(MA) N=879



問28 地域のクラブやグループに参加する場合、どのようなことが重要だと思いますか。

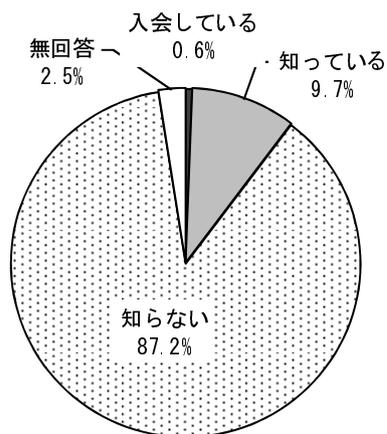
(複数回答可)

(MA) N=879



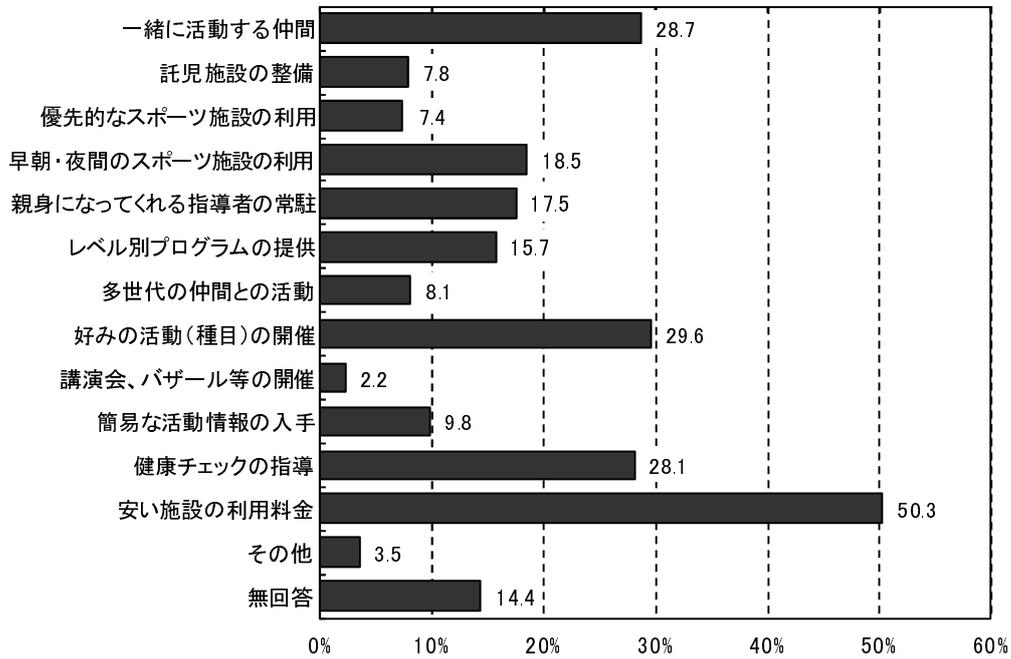
問29 あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。

(SA) N=879



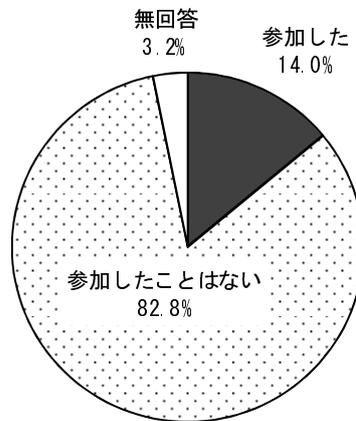
問30 あなたのお住まいの地域に総合型スポーツクラブができるとしたら、どんな条件なら加入しますか（加入には会費が必要です）。（複数回答可）

(MA) N=879



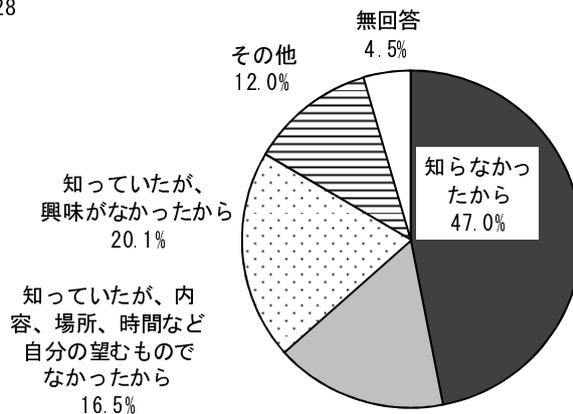
問31 この1年間に、市や地域の運動・スポーツの行事に参加したことがありますか。（見学、観戦は除きます。）

(SA) N=879



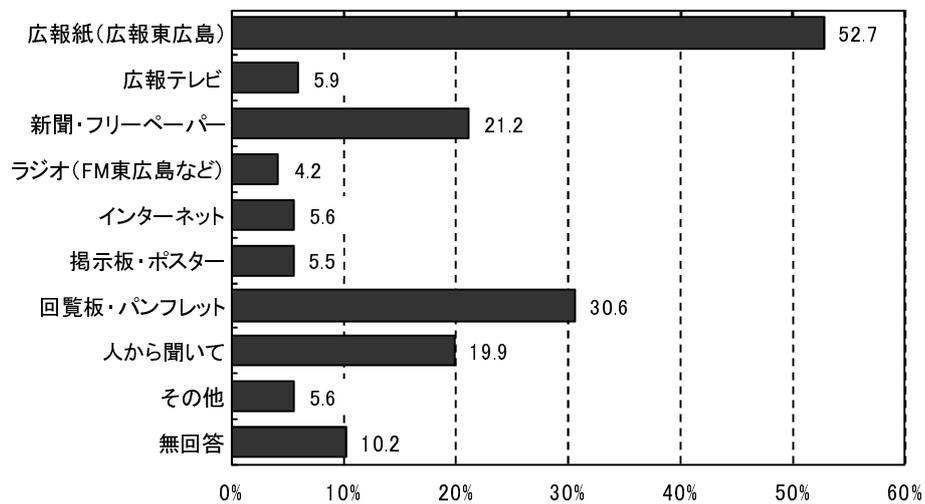
問32 問31で「参加したことはない」に○をされた方にお尋ねします。
参加したことがないのは、どういう理由からですか。

(SA) N=728



問33 市や地域の運動・スポーツ行事の情報は、主にどこから得ていますか。(複数回答可)

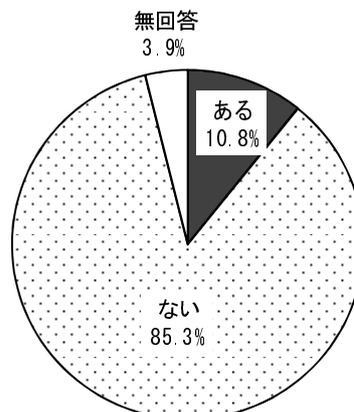
(MA) N=879



スポーツボランティアについて

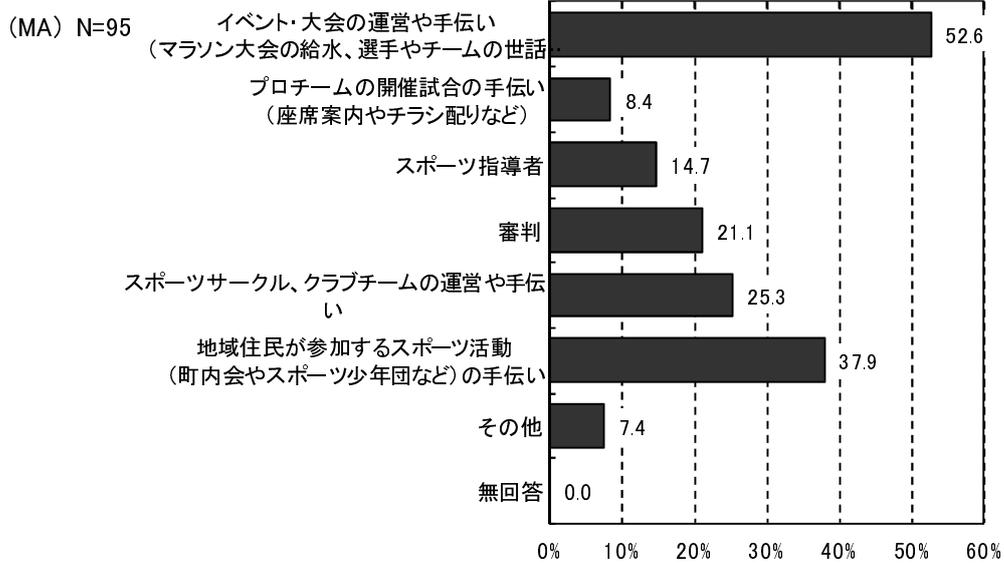
問34 あなたはスポーツボランティア(イベントの支援、スタッフなど)をしたことがありますか。

(SA) N=879



問35 問34で「ある」に○をされた方にお尋ねします。

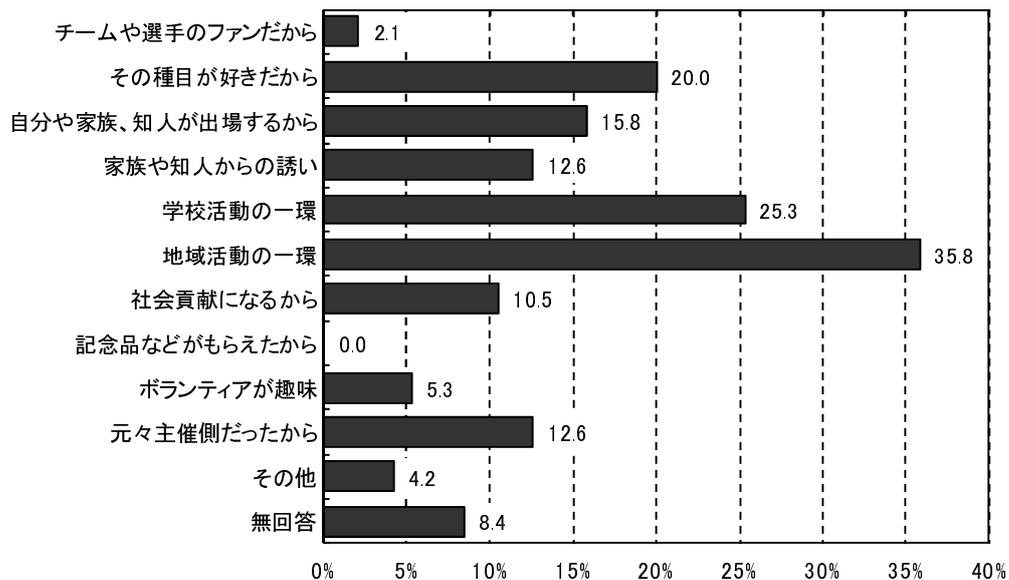
どんなことで参加しましたか。(複数回答可)



問36 問34で「ある」に○をされた方にお尋ねします。

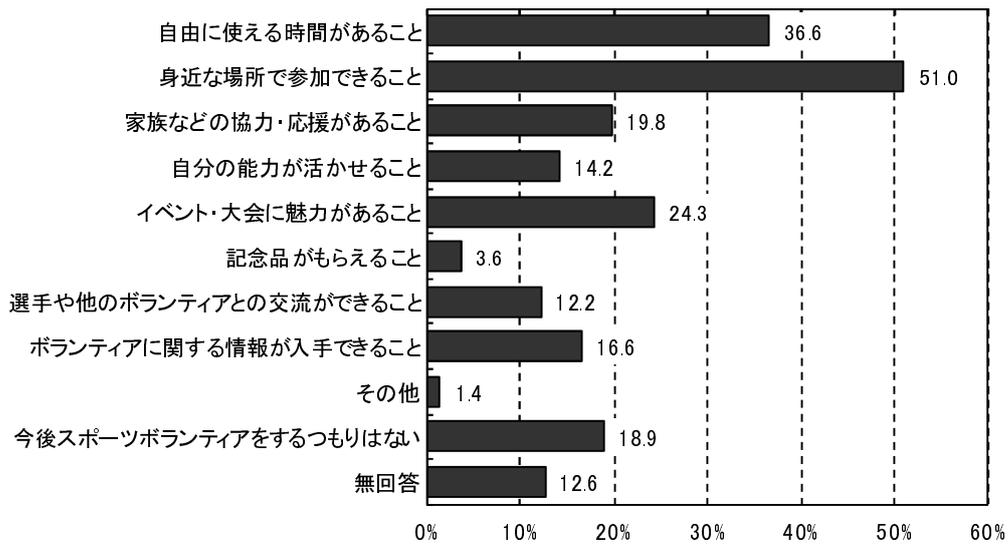
参加したきっかけは何ですか。(複数回答可)

(MA) N=95



問37 今後、スポーツボランティアを始めたり、続けたりするには、何が必要だと思いますか。(複数回答可)

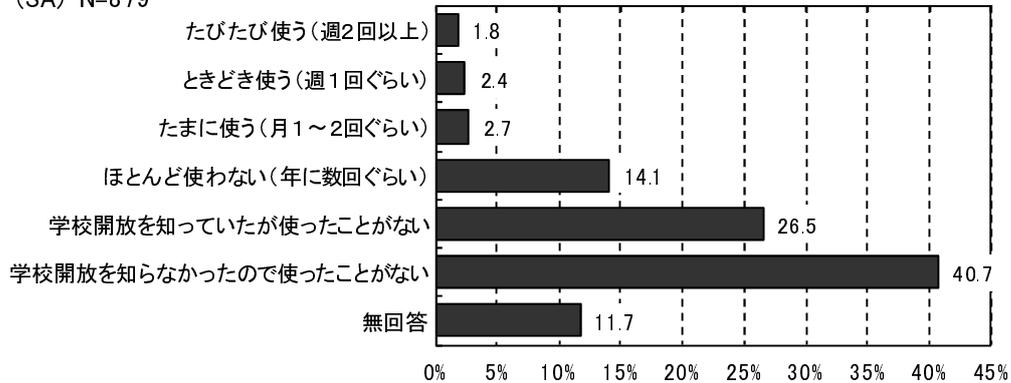
(MA) N=879



運動・スポーツのための環境について

問38 現在、東広島市では学校施設の開放などによるスポーツをする場所の提供を進めています。あなたは、学校施設を運動やスポーツに利用したことがありますか。

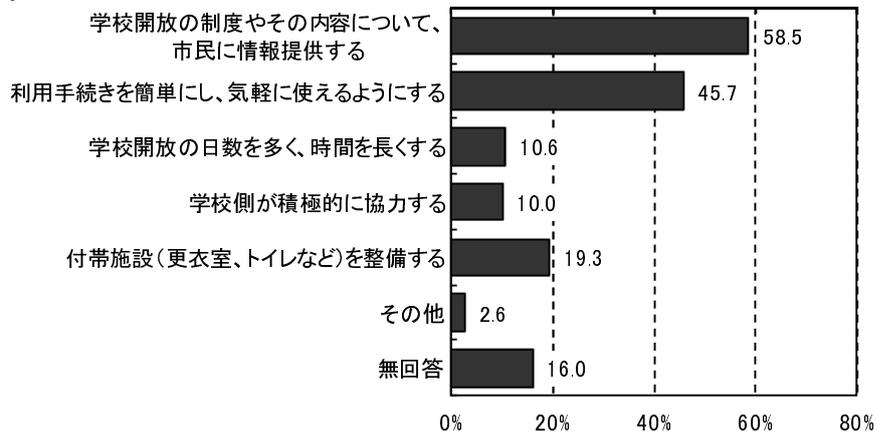
(SA) N=879



問39 学校開放施設の利用を増やすためには、どんなことに配慮すればいいと思いますか。

(複数回答可)

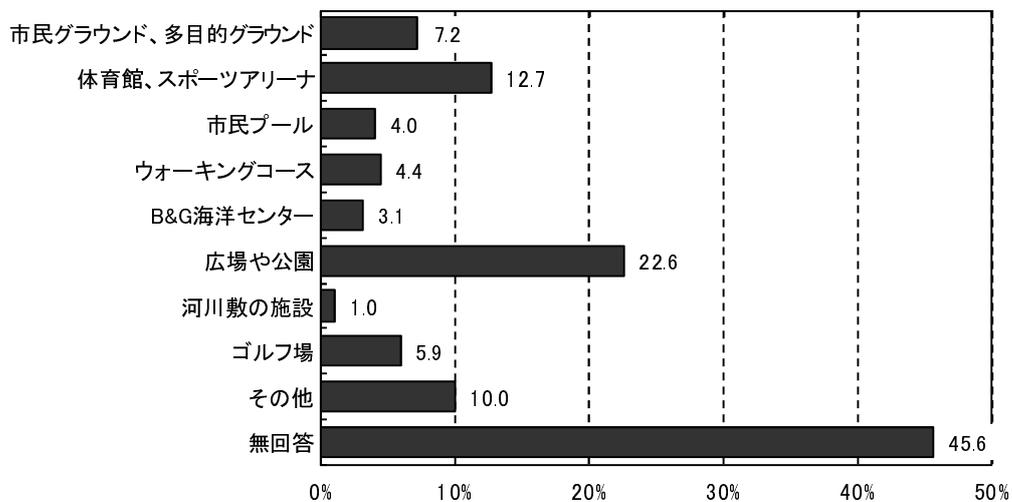
(MA) N=879



問40 あなたがこの1年間で利用したことがある、東広島市内の施設はありますか。

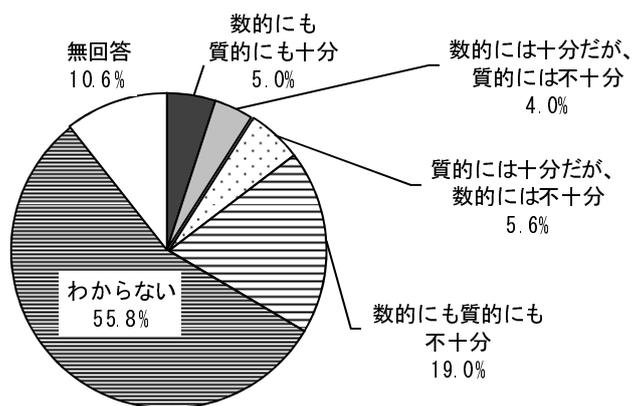
(学校開放施設以外)(複数回答可)

(MA) N=879



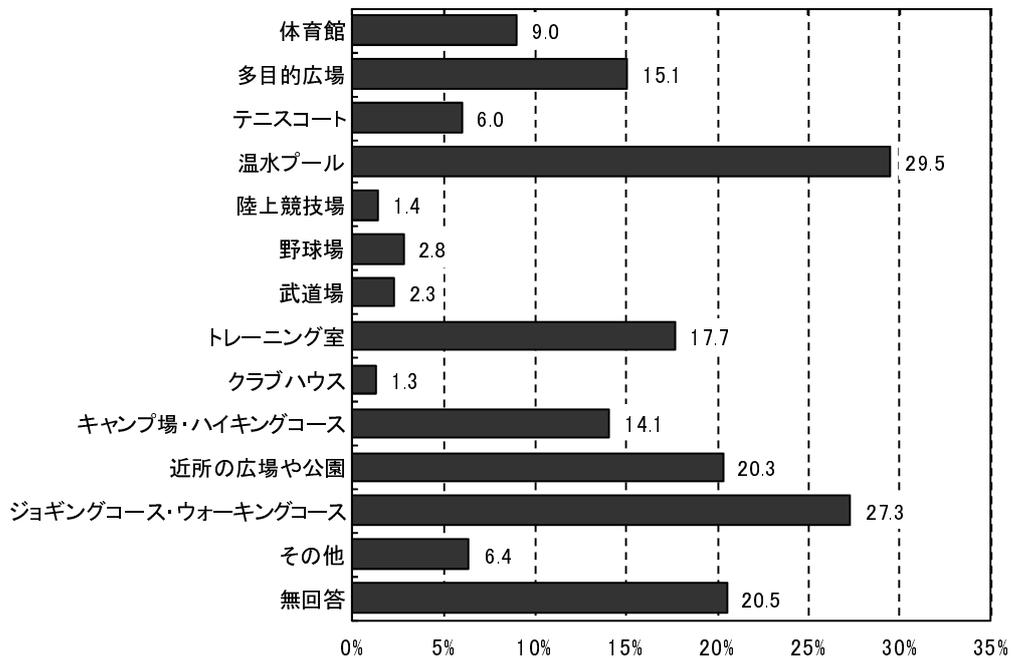
問41 東広島市内の運動・スポーツ施設は十分だと思いますか。

(SA) N=879



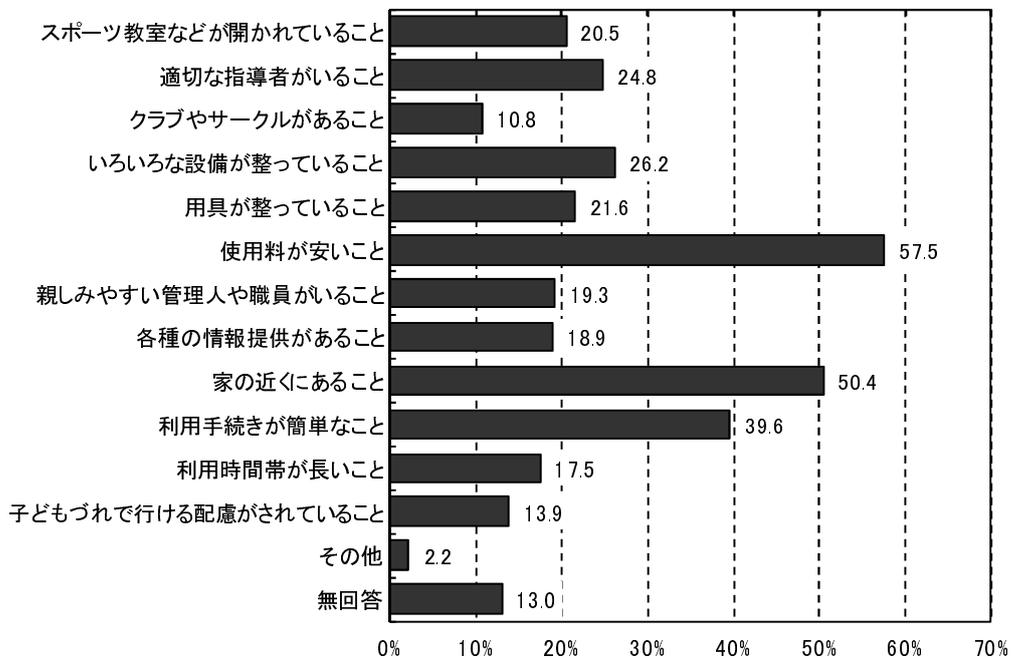
問42 今後、あったらいいと思う運動・スポーツ施設はありますか。(学校開放施設以外)
(複数回答可)

(MA) N=879



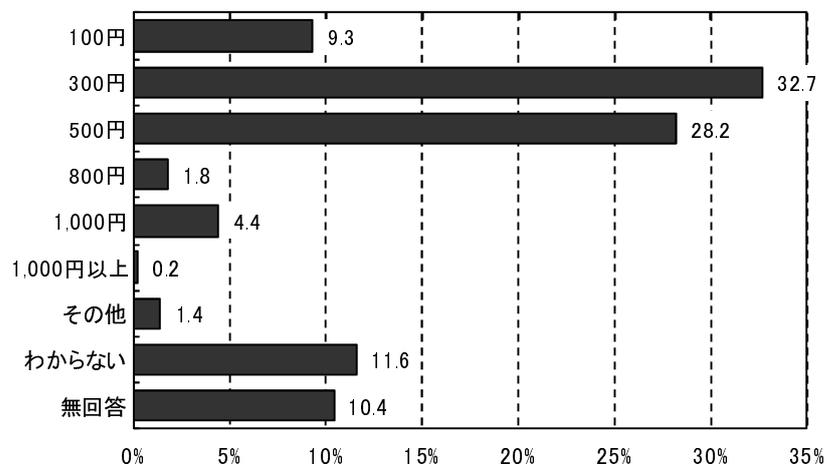
問43 市の運動・スポーツ施設に、どんなことがあれば、利用したいと思いますか。
(複数回答可)

(MA) N=879



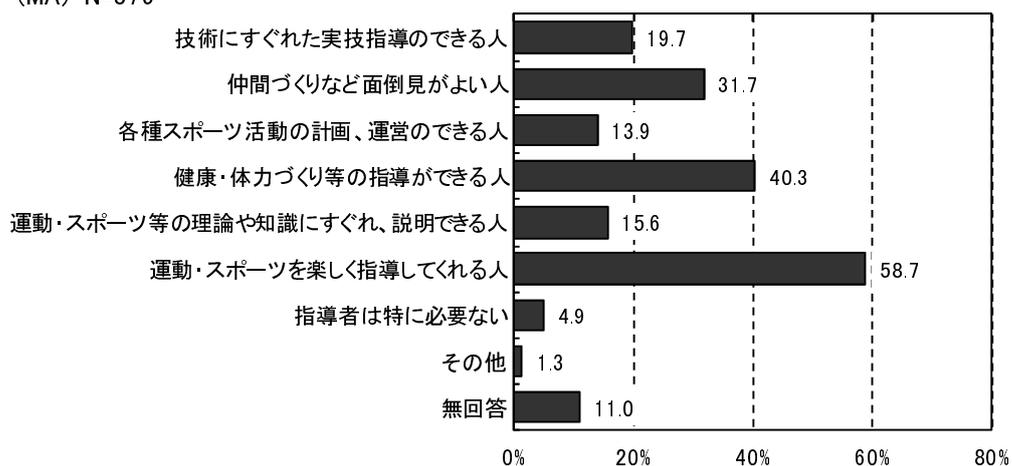
問44 市内の運動・スポーツ施設を利用する場合、1回当たりの使用料がいくらかいなら払ってもよいと思いますか。

(SA) N=879



問45 市内に運動指導士やスポーツの指導員などを配置する場合、どんな指導者を望みますか。(複数回答可)

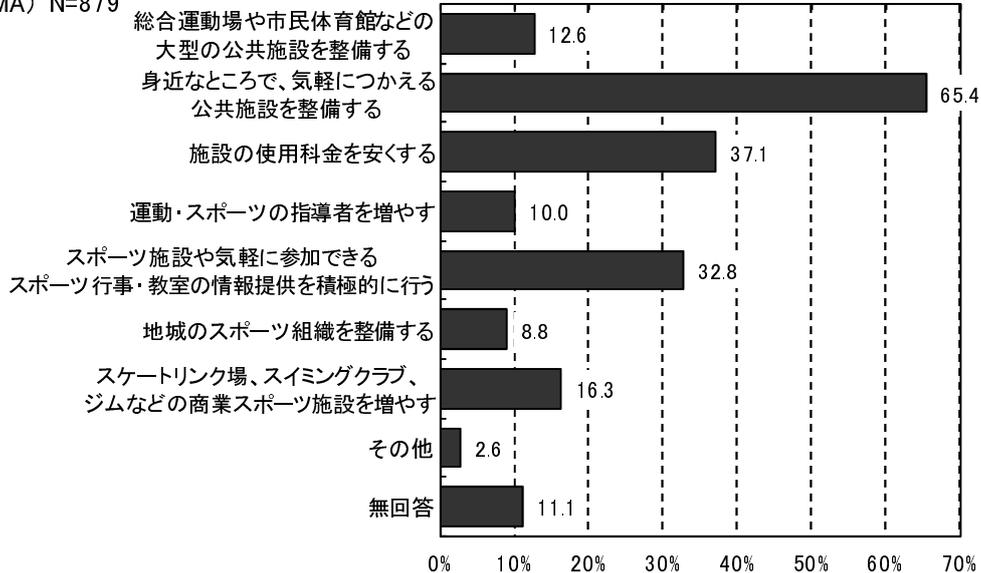
(MA) N=879



東広島市のスポーツ振興について

問46 将来、東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか。(複数回答可)

(MA) N=879



東広島市スポーツ推進審議会設置条例

東広島市スポーツ推進審議会設置条例

昭和49年7月5日

条例第142号

改正 平成元年3月13日条例第5号

平成12年3月6日条例第5号

平成16年12月28日条例第141号

平成23年9月30日条例第19号

(題名改称)

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成12年条例5号・23年19号〕)

(任務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、東広島市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) スポーツの推進に関する計画に関すること。
- (2) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (3) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (4) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (5) スポーツの団体の育成に関すること。
- (6) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (7) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほかスポーツの推進に関すること。

(一部改正〔平成12年条例5号・23年19号〕)

(組織)

第3条 審議会は、15人以内の委員で組織する。

2 特別の事項を調査審議するために必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3 委員及び臨時委員は、非常勤とする。

(一部改正〔平成16年条例141号〕)

(任命)

第4条 審議会の委員及び臨時委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員

(一部改正〔平成16年条例141号・23年19号〕)

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によつてこれを定める。
- 3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第6条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

- 2 審議会の委員は、再任されることができる。
- 3 臨時委員は、特別の事項に関する調査審議を終了したときは退任するものとする。

(議事)

第7条 審議会の議事は、委員及び議事に関係のある臨時委員のうち、出席した者の過半数を以て決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(報酬及び費用弁償)

第8条 委員の報酬及び費用弁償については、特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例（平成元年東広島市条例第5号）の定めるところによる。

(一部改正〔平成元年条例5号〕)

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、東広島市教育委員会事務局において処理する。

(細則)

第10条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項については、審議会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成元年3月13日条例第5号抄）

(施行期日等)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成12年3月6日条例第5号抄）

- 1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成16年12月28日条例第141号）

- 1 この条例は、平成17年2月7日から施行する。

- 2 この条例の施行の日以後最初に任命される東広島市スポーツ振興審議会の委員の任期は、改正後の第6条第1項の規定にかかわらず、平成18年8月4日までとする。

東広島市スポーツ推進審議会委員名簿

名 前	所 属
坂本 一彦	東広島市体育協会会長
新川 義貴	東広島市スポーツ推進委員協議会会長
光橋 扶	学識経験者
渡部 和彦	広島大学 名誉教授
高尾 文子	広島国際大学 教授
倉本 正行	東広島市体育協会理事長
田中 清子	地域代表者
大林 和彦	東広島市内高等学校体育連盟代表
國崎 康裕	東広島市中学校体育連盟会長
土生 士郎	東広島市小学生体育連盟会長

(敬称略)

東広島市スポーツ推進計画

平成29年3月

— 策定 —

東広島市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号

電話：082-420-0978

ファックス：082-422-6540

— 協力 —

(株) ジャパンインターナショナル総合研究所